京城日報

十日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢(郵送料共)　一ヶ月金六拾錢　三ヶ月金壹圓七拾錢　六ヶ月金參圓參拾錢　▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢　▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢　▲三號活字十一字詰壹行金壹圓　▲四號活字廿一字詰金七拾錢

發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

時間表 [illegible]

○長谷川總督釜山出發

十日朝天曇り雨模様なり長谷川總督は午前四時半起床五時山縣政務總監秋山軍司令官、立花師團長、大屋長官其他京城より出迎の爲來れる高官連と朝食を共にし快談に暫く時を移し六時と云ふに桂釜山驛長の先導にて停車場ホテルを降り開札口に堵列せる釜山守備兵より『海行かば』の吹奏中隨員及び出迎の高官を隨へ特別列車四號に搭乘せり見送りには露國領事在釜山高等官判任官在郷軍人福田大池、迫間、香推、大原の各府協議員其他民間有力者數十名新聞記者中學校商業學校鮮人商業學校職員生徒其他多數なりき特別列車は六時十分發車總督は昇降口に立ち見送者に擧手の禮を爲しつゝ無事京城に向へり（釜山特電）

▲大邱の歡迎送

新總督長谷川元帥を乘せ釜山を發せる特別列車は午前八時三十六分無事大邱驛に著せり步廊にて在大邱官民有志諸學校生徒其他約二千名出迎へ煙火數發を打揚げて歡迎せり總督は出迎人に一々丁寧なる答禮を爲し殊に出迎の爲め來れる總督の實弟大邱方法院安東支廳判事境誠之進氏と親しく會談豫定の如く同八時四十一分發車京城に向へり（大邱特電）

▲大田の歡迎送

長谷川總督一行を乘せたる特別列車は十日午前十一時五十三分大田驛著驛には大田官民軍人學校生徒等多數の出迎あり同五十八分萬歳聲裡に發車せるが上林忠南道長官、神田警務部長、内藤、澁谷の兩氏は同驛より同乘成歡迄總督を見送れり此日大田市中は各戸國旗を掲揚し歡迎の意を表せり（大田特電）

▼李伯子の出迎

李完用伯李秉武子の兩氏は總督出迎の爲め八日大田著十日午前十一時五十八分總督と同車京城に向ふ（大田特電）

▲仁川官民の出迎

櫻井仁川稅關長平田觀測所長淺松太郎氏其他仁川有志は十日午后十二時半仁川發永登浦驛にて長谷川總督の出迎をなしたり

▼久水外事課長

久水外事課長は十日午後零時半仁川發永登浦驛に於て長谷川總督を出迎へ同列車に搭乘の上南大門驛迄見送れり（仁川）

◎新總督著京
―長谷川元帥任に就く―

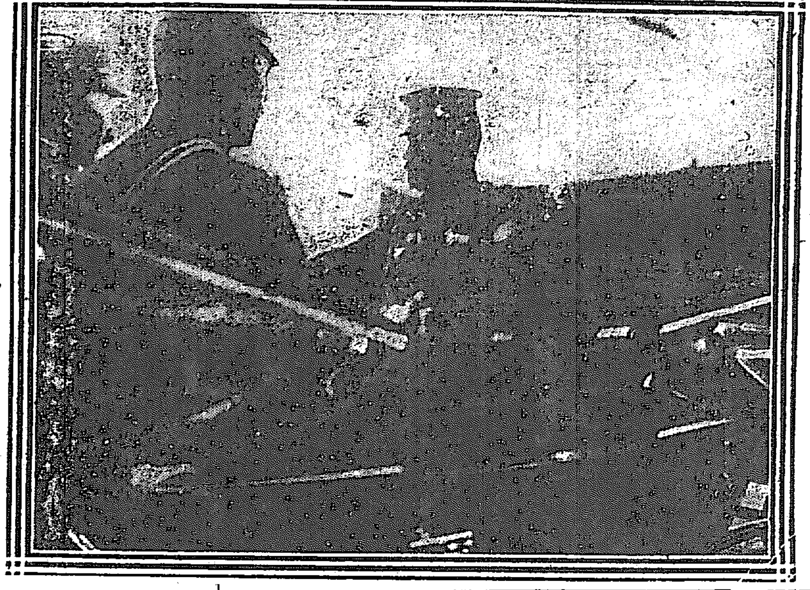
十日は新任朝鮮總督伯爵長谷川好道元帥の著任日なり、此の日小春の空朗らかに晴れて南山の松翠益々翠を加へ、彩旗都門を埋めて萬人歡迎し

▲南大門停車場

構内は隈なく清掃されて又纎塵を留めず撒水の跡もいと鮮かにして元帥總督を迎ふるの用意全く成りたるを見る著車前三十分頃よりは衣冠束帶の正裝せる人々自動車、馬車、腕車等にて陸續と來り豫て貴賓室に設けられたる受付には見る間に名刺の山を築きたり、三時に至る十分前一同は步廊に出で特別改札口を中央として西側には在郷軍人會京城分會員東側には文武高等官、各國領事、朝鮮貴族、新聞通信記者、民間代表者、赤十字社員、愛國婦人會員等七百餘名整列し總督の到著を今か今かと待ち詫びたり軈て三時を過ぐる將に十分にならんとする時一發の轟砲南山に谺すと思はせず五輛のボギー車を連結したる特別列車は辷るが如く構内に入り來りたり斯て新總督は其大任を果す可き京城の地に先づ一步を下ろし山縣政務總監の先頭にて文武高等官より外國領事、貴族、新聞記者、民間代表者、赤十字、愛國婦人會、在郷軍人會と順次に挨拶を爲したる上直ちに構内を出で豫て差廻されて居る金紋栗毛の二頭立馬車に乘じ大島齋藤の兩副官同乘して軌を廻せば驛前に堵列したる步兵第七十八聯隊及び朝鮮步兵隊によりて『海行かば』の喇叭吹奏せらるゝ中を一箇小隊の儀仗兵に護られ出迎の文武高官の人々之に續き豫定の道を官邸指して進み行けり、沿道堵列の各種團體其の他歡迎の人々は總督來る總督來るの歡聲湧くが如く總督は一々叮嚀に答禮されつゝ三時二十五分官邸に入れり

▲沿道の堵列數萬

南大門驛より南大門に至る兩側三分の二迄は一裝服を著けたる軍隊著劍にて堵列し其左翼より太平通入口迄及び南大門外の東側一帶は千數百名の判任官南大門を入つてより京城郵便局前に至る間は京城中學校を先頭に官立學校生徒南側に整列し其より黄金町電車交叉點迄の南側は高等女學校を先頭に公立小學校北側は高等普通學校を先頭に各公立普通學校及び私立各種學校生徒居列び其後方及び黄金町一丁目より永樂町入口迄は民間の各種團體代表者整列したり其他南大門驛より總督官邸に至る十數町の間は殆んど人を以て埋められ夫々所管の警察署よりは非番巡査をも召集して警備にを配置したるも總督の通行前二十分頃ともなれば人出の雜盛となり近來未曾有の大雜沓を呈したり



長谷川元帥　―南大門驛頭にて―

▲官邸到著

新總督を迎ふる倭城臺の總督官邸[illegible]門の大國旗團緞として一裝服の衞兵が捧げたる銃劍の光も眩しく新主人の入邸を今や遲しと待つ程に三時三十三分頃總督を乘せたる馬車は鐵蹄の音も勇ましく官邸差して進み來れば衞兵司令の命令にて一分隊の衞兵は捧銃に敬禮喇叭の聲もさやかに正門を入り玄關先に出迎たる荻田總務局長、事務取扱、郡山會計課長の人々に迎へられて中央の客間に入れり程なく文武高官の人々も亦陸續として參邸す玄關前に設けられたる名刺受に刺を投ずるもの引きも切らずさしもに廣き官邸の廣場も人と乘物とを以て充され動きも取れぬ盛況を來したり總督は長途の旅行些の疲勞の態もなく十數名の近親の人々と應接し夜に入るも未だ旅裝を解かれざりき

▲晩餐會開催

（十日午後五時半記）

長谷川總督は十日午後六時三十分より山縣政務總監秋山軍司令官立花師團長古海警務總長其他の釜山迄出迎へたる文武官を官邸に招待して晩餐會を催せり

◎以て好況を卜す可し
東拓改正案―鮮内の滯貨問題―通貨の大膨脹
度支部長官　荒井賢太郎氏談

度支部長官荒井賢太郎氏は歸任の途中出迎への記者に語つて曰く

▲議會の開期も追々切迫しつゝあり、政界の形勢不穩を傳ふるものあるも斯の如きは其の實際に至らざれば判明するものにあらず、大正六年度の總督府豫算は、前年度に比し、大差なけれど多少の新規事業あり、萬一議會の解散を見るが如きことあらば素より不幸甚しきが恐らく事無きを得可し、東拓は無事總會を了へ役員も豫定の如く決定せり同社の改正案は今期議會に提出さるゝ可く補助問題また之れに伴ふと勿論なれば議場には多少の議論ある可し、されど本年は豊作に加ふるに米價昂騰せることゝて同社も本年は相當の成績を擧ぐるならむ、却說予は釜山に上陸して滯貨の夥しきに一驚を喫したるが列車に搭乘後車窓より眺むるに沿線各驛とも貨物山積せり、釜山の滯貨は主として米の樣なれど大豆も亦た鮮からざるもの、如し、何れにせよ一日も早く排泄の途を講ずることの肝要なるはいふまでもなければ鐵道の如きは全力を擧げて之れが輸送に努め居れる由なれば近く常態に復し得可きが、港口の滯貨は内地に於ても船腹不足の今日とて船繰意の如くならざれば遽かに其の輸送力を激增するは不可能の事情あり、殘念乍ら尚ほ若干の日時を俟たざる可からざる可し、斯くの如く

▲稀有の滯貨を告ぐるに至れる原因に就ては素より種々あるべしと雖も、本年は未曾有の豊作にて其の收穫高は大正三年の實收額を超過せる有樣なるに搗て、米價愈々好氣配を呈せるより各地とも出廻り相踵ぐの結果なるを知らば此の現象は一面に於て好景氣の表徵と見るを得可く輸移出の增加と相俟つて朝鮮產業の著しき進步を證するものと謂ふ可し、滯貨と共に未曾有の現象は通貨の膨脹なり、朝鮮銀行券發行高は現に四千萬圓を超へ年末までには或は五千萬圓に達す可しと噂せらる

▲通貨の膨脹は金融繁忙の結果にして貿易の增進、貨物の停滯等に依るものなるも往々にして不健全なる事業の之れに伴ふことあり、今日にては未だ斯かる兆候を認めざるは喜ぶ可し、然れども通貨の膨脹は一面に於て物價の上騰を促す虞れあり、内地の如きは現に此の傾向甚しき模樣なれば朝鮮に取りても甚だ心配なり、此の點に就きては當局に於ても

▲深甚の注意を拂ひ出來得る限り防遏に盡す考なり又通貨の膨脹に伴ふ補助貨の缺乏は各地昨今殊に甚しき由なるが、這は經濟界に及ぼす影響尠からざるを以て急遽補充の方法を講ぜざるべからず、されど此の現象は小取引の繁多を證するものにして中流以下の社會が如何に活氣を呈し居るかを窺知し居可く一面に於て現下の滯貨と共に鮮内の好景氣を量るバロメートルと謂ふ可し

危篤に陥れる大山内大臣

◎仁川貿易狀況
本年一月より十月迄

仁川稅關に於ける最近の調査に依れば本年一月以降十月迄の本港貿易況は經濟界の恢復と共に戰亂勃發以來の活況を呈し輸移出入累計千九百三十六萬圓に達し昨年に比し二百五十二萬圓の增加を見るに至れり中輸移出は五百三十一萬圓にして七十九萬圓減輸移入は千四百四萬圓にして三百三十一萬圓の增加なれば結局八百七十二萬圓の入超にて昨年の入超四百六十一萬圓に比し約四百十萬圓の輸移入超過を示したる次第なり此れ輸移出に於ては昨年末に於ける鮮米の好況は一時に圖つて阪神各地に仕向げられたる爲め本年々初に至り内地各方面に於ては停滯米の關係及び與筋の在米不況に反し仁川は定期市場登滿に陷り氣勢軟弱なるに強値を維持して遂に内地値と出合はず輸移入捗々しからざりし爲め米及び大豆のみにても昨年の三百九十萬に對し二百九十萬圓なれば約百萬圓の減を來したる所以にして其の他の人蔘及び煙草に於て十八萬圓餘の增を見たるも問題にならざりき反之輸移入に於ては鮮内各地の金融狀態稍順調に趨き一般の購買力活潑となりたる結果前記の如く激增を見るに至りたるが就中鹽、砂糖、燐寸、蠟燭物の如きは何れも十萬乃至二十萬の增加をなし綿織糸生金巾シーチング晒金巾シーチング綿綢子イタリアン支那麻布毛織物絹織物等に至つては驚く可き好景氣にて右十數品合計にて六十二萬圓にて昨年に比し百三十五萬圓即ち約三割の增加せり輸移入減の重要品は石油の二十萬石炭の十萬圓木材の十萬圓減等にして其他の重要品にありては大差なかりきと重要品の貿易額を掲ぐれば左の如し

品名	本年十月迄	昨年同期
▲輸移出品		
米	二、三三四、七六七圓	三、三二四、二六九
大豆	五六三、〇七〇	五九〇、五七七
人蔘	一、二五六、四六三	一、一一七、二六〇
金銀	三一、〇三〇	一六七、八〇五
煙草	一八八、〇二六	一四三、六三四
▲輸移入品		
小麥粉	一六二、〇七七	一二二、四六五
鹽	三四九、九五八	二三二、六七七
果實	五三、八二二	一三、七一八
砂糖	三〇六、二五二	一二三、三七四
石油	四〇〇、二五三	六三五、一〇二
綿絲	三一三、四三〇	二四六、四四二
生金巾シーチング	九二二、四八七	六七四、五一四
晒金巾シーチング	八四二、六五四	七七四、九七七
綿綢子及イタリアン	四二八、二六三	二九、四七二
支那麻布	一、三六〇、一四五	九二一、五二四
毛織物	五九〇、九四七	五五、二六〇
絹織物	七〇〇、六四四	四七三、〇四七
洋鐵	二四三、三八六	一八八、三七二
熟鐵	三五七、四一五	二七八、七八五
鐵釘	一二九、一六〇	五六、九八〇
石炭	一九九、七三五	二四三、八八〇
木材	二七二、〇〇六	三七八、六九七
マッチ	二四六、七二六	一三三、〇九八
爆發物	二〇二、二八六	八四、六九三

◎群山船腹出來

群山の穀類滯貨は十餘萬叺に上り其の船腹問題に關しては同地有力者と船會社間に亙り數十回の接衝を重ねつゝありしが結局米商組合及び大阪商船並に尼ケ崎兩代理店間に於て七日漸く船腹の協定を見たるが其の要項は大要下の如し（一）大阪商船は十二月十五日以降三十日迄に臨時船を群山に廻航し四萬叺を阪神へ輸送す（二）尼ケ崎汽船會社は十五日以降三十日迄に臨時船を廻航し一萬叺を阪神へ輸送す（三）商船及び尼ケ崎は各定期船に三萬五千叺を積載阪神へ輸送す右の外朝郵の臨時船及び鐵道便による發送あり同港としては相當の荷捌けを見るべしと

◎測地班全部引揚

臨時土地調査局より平安南北咸鏡南北各道の國境地方に派出しゐたる測地作業班は最近全部本局へ引揚げ同時に該作業は終了せり

◎開城支廳移轉式

京城地方法院開城支廳にては豫て廳舍新築中の所此程竣工し九日之が移轉式を擧行せしが同日地方法院よりは岩本法院長、松寺檢事正の兩氏も出張臨席ありて無事閉式して兩氏は同日午後歸京せり

◎東拓兩理事入京期

高瀨東拓理事は十一日朝又松平理事は十三日朝入京の筈なり

◎三島理事歸期

東上中の三島鮮銀理事は十七日美濃部總裁と同行歸京すべしと

◎兩氏送別會

這回總督府總務課より全羅南道事務官に轉任せる今村邦典氏及び土地調査局監査官に陞進せし吉田英三郎兩氏の爲め十一日午後五時半より清華亭に於て有志の送別會を催す筈なり

◎曹氏の辭退書提出

曹汝霖氏は目下の形勢に鑑み八日日本特派專使辭退書を國務院に提出したりと（北京特電）

◎英國内閣組織の方針

英國政界の難關は未だ解決せられずボナー、ロー氏は内閣組織の爲め六日終日奔走したれども奏効せず依て皇帝は結局ロイド、ジョーヂ氏に命を下しロイド、ジョーヂ氏は目下ボナー、ロー氏の助力を以て新内閣組織の經營中なり想ふにロイド、ジョーヂ氏は自己の思ひ通りの眞の少人數の軍國内閣を組織し他の多數の閣員をして自己の所管の事に專心ならしむべし氏は又サー、エドワード、カーゾン氏の援助を得べく且從前より多くの勞働黨關係の人を召集して戰爭關係の事に與らしむべし（倫敦電報）

□海州より
鯨洋生

龍塘浦より海州へは一里十八丁、人力車の便ありと聞き、埠頭を尋ねて得ず、二三ありしも何れも先約物也。聊か心細し、漸く一臺の島車を發見乘車す、車内六人を容れて二人は偏斜坐せざるべからざる頗る狹少のもの也。天井低く、四方は掩はれて、前後に小窓あるのみ、車内は煙草の臭と、蒜の臭とに滿ち、且煙光人面を分ち難く、惡感從て、車體躍るが如く、搖度かに筆紙に盡し難し、而して其進むに、帽子の衝突あり、加ふるに動搖と共に、異樣の音響は耳を聾す。蓋し圓太郎馬車に及ばざる事遠く、四方を塞し處は、裁判所の門を潜り相也。小窓に依て明なる月光の下僅に山野を分のみ車の奈邊を進みつゝあるだに、窺ふを得ず、午後十時半、無事海州に著す。敬へられたる旅館に至れば、何れも滿員客止の有樣也。何ともならば、小學校長會議の爲、來海したる先生達、五十餘名が、既に陣取り居れる事とて、客止も最も千萬也。漸く一室を得て投ず。頗る不可思議なる室にて、殆んど光線を見ず。多分は、間に合せのものならんも、小生の爲には、今夜の金殿玉樓也。彼の馬車に搖られて、此の室に投ず、亦緣なる哉呵々。翌朝早起、各所訪問、午後は殆ど半日を警務部及び道廳に送り、四時半宿に歸れば、鎭南浦より歸仁の、宗信丸來るべしとの報に接し、直に電信的旅行の本性を發揮し、五時半車を命じて、海州を發す。暮靄遠近を閉ぢ、朧月影淡き處、行雁數行南飛するを見る。

仁川

▲淺見支店長赴任　前朝鮮商業銀行仁川支店長淺見氏は十一日午前九時五十分仁川驛發にて赴任の筈

▲臨時船回航　仁川に於ける滯貨近況に就いては詳報せしが其後仁川貿易業者と船會社との商談成立し來る十五日日運丸の回航する外續いて明年一月頃仙頭丸外二汽船寄航する由なるが更に來る十七日鉛山丸（六千叺積込豫定）智多丸（同上七千叺）湖南丸（同上三萬叺）等の臨時航回航の約成りたりと

▲谷野課長出張　仁川關稅谷野庶務課長は事務打合せの爲め管内群山支署へ出張十二日頃歸任す可し

▲佛教青年會　仲町佛教青年會にては十一日午後七時より講演會を開き朝鮮淨土宗布教理事吉村立壽氏及び宮永六雄氏の『佛教徒として世に處す可き道』『起信論講義』等の講演ある由

群山

▲客月貿易　群山港十一月中貿易狀況を聞くに輸移出重要品にては米穀四十九萬二千九百零六圓大豆八千八百二十五圓牛皮一萬四千三百十八圓等にて輸移出總計價格五十三萬四千九百六十二圓に達し輸移入重要品にては小麥粉三千百六十三圓食鹽一萬零五百八十三圓果實及び核子五千零三十三圓清酒二千百四十六圓石油五千八百二十圓繰綿及び打綿三千三百五十七圓綿織糸一萬七千五百九十圓生金巾及び生シーチング九萬四千二百八十五圓晒金巾及び晒シーチング一萬五千二百十二圓日本木綿五千三百四十二圓陶器及び磁器四千三百零七圓叺細及び莚二千九百六十二圓マッチ五千八百六十六圓等にして輸移入品價格總計二十五萬七千九百十六圓に上りたるが昨年同月の貿易額に比するに輸移出額に於ては米穀輸出額の激增せる爲め十四萬四千三百五十八圓を增し輸移入額に於ては一萬五千二百四十圓の增加を示せり▲檢米成績　群山米穀檢查所取扱に係る十一月中檢米成績を見るに全北產上格三千五百六十六叺下格八萬零三百八十叺禁止四千四百二十六叺忠南產上格三十六叺下格六百二十二叺禁止六十三叺等にして上格合計三千六百零二叺下格合計八萬一千〇〇二叺禁止合計四千四百八十九叺なりしと

人事消息

▲金久保第四十旅團長▲甲同副官　十日朝入京巴城館へ
▲渡邊久吉氏（渡邊潤發所主任）　同上原金へ
▲玉水組主任　同上
▲宮本政蔵氏（忠北技師）　十日朝退京
▲赤木萬治郎氏（平壤中學校長）　十日夜入京城ホテルに投宿の筈
▲富田儀作氏（鎭南浦實業家）　同上
▲山縣五十雄氏（ソウルプレス社長）　九日午後釜山へ十日午後歸京
▲松永武吉氏（京畿道長官）　十日午前新總督出迎の爲め成歡へ午後歸京
▲服部親信氏（京畿道警務部長）　同上
▲中村精七郎氏（中村組社主）　九日夜入京天眞樓へ
▲木村健夫氏（木浦商業會議所會頭）　九日午後入京山本旅館へ

□大和町より　鳥兎生

辻にビラ貼り居る夕日風寒う
十五夜の月が知ら暮れぬ街寒う
祭過る柩に寒う宣詞讀めり

●禮砲殷々と轟く裡に 情籠る温かき握手

總督を迎ふる參差たる劍光帽影 南大門驛頭の貴族團と領事團

待ち設けられし長谷川總督の臨時列車は十日の午後三時十分といふに南大門驛著總督は三十萬府民の大歡迎の下に堂々馬車を驅つて倭城臺の官邸に入つた、此の日列車到著前の南大門驛は驛頭見渡す限りの人波に軍隊官吏の堵列と儀仗騎兵一小隊の

▼紅白の槍旗が翻飜と

して街上到る處悦びの色に輝き亙つたかくて定刻に至り總督の列車が龍山の方から現れると錬兵場から發射する禮砲の音が殷々として轟き亙り列車が徐々構内に入ると共に新總督は大屋鐵道局長官の案内にて靜かにプラットフォームに降り立つた、總督の後には山縣政務總監、秋山大將、立花、古海兩中將を始め高橋武官、大島、齋藤兩副官が隨ひ

▼劍光帽影參差たる

壯觀を呈したのであるが總督は帽子の庇眞深にかぶりて其の丈高く儼然たる英姿を歩廊に運び胸間にかけ連ねたる功一級金鵄勳章、旭日桐花大綬章及び舊韓國の一等大極章の副章の光輝が燦然として輝いた、斯て總督は歩廊に整列せる出迎者一同に對し擧手の禮を行ひ先づ

▼中央貴賓室の前に

出迎へられたる李堈公殿下李埈公殿下に對し鄭重なる挨拶をなしたる上白水軍參謀長以下の陸軍將校在鄕軍人の前を過ぎ更に引返して文官席前より外國領事團、朝鮮貴族、赤愛會職員の前に歩を進めたのであつた、殊に各國領事に對しては一々右手をのべて握手を試み更に朝鮮貴族團の前にては『ヤア!!御機嫌よう!!』と

▼十年許り以前の舊知に對し

一々温情籠めし握手を交しつゝ曾て軍司令官當時に司令部囑託たりし宋秉畯子爵を始め他の金嘉鎭老子爵趙民熙子爵等に對しては殊に久濶の挨拶があり朝鮮貴族團とは頗る温かき挨拶が交されたのであつたかくて總督は歩廊を一巡すると共に中央貴賓室前より馬車に乗り堵列隊より『海行かば』の喇叭吹奏裡に儀仗騎兵隊を先驅として堂々南大門通りより黄金町を經て倭城臺官邸に入つた

馬蹄も輕く――總督倭城臺官邸へ向ふ――

▽朝立ちの雨、名殘無く晴れて 歡聲、一路三百哩

愛らしき令姪 大邱にて出迎

十日午前六時十分長谷川總督は隨員一行及び山縣政務總監秋山軍司令官立花師團長以下文武官民の主なる者を隨へ特別臨時列車に搭乘せられプラットフォームに整列せる釜山官民中學校商業學校生徒等の見送を受け釜山驛を發す龜浦勿禁驛を過ぐる頃か

◇夜來の曇天は 遂に風と雨

を車窓に打つ事頻なり七時十分三浪津驛に著しプラットフォームには雨に濡れて小學校普通學校生徒送迎し總督は列車のブリッヂに立ちて慇懃に挨拶せらる、京城よりの出迎人多く乘車す、列車の密陽に著する頃雨の洛東江は仄かに曉明の光を漂はして江畔五戸三戸の農村に至るまで國旗を掲げて歡迎の意を表す、密陽にても停車場には日鮮官民學校生徒等曉の雨を冒して熱心に送迎し小郡某なる者名物鮎の粕漬を贈る八時五十分淸道驛に著く釜山まで出迎へたる佐々木慶尙南道長官前田警務部長此處より

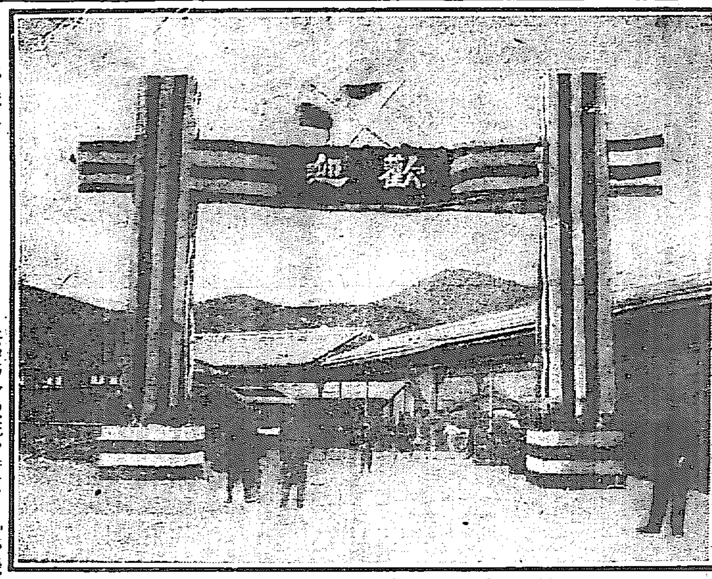
◇別れを告げて 下車し鈴木慶尙北道長官服部同警務部長竹前大邱府尹及び大邱民間の主なる者等出迎への爲乘車す總督は最後方の貴賓車に在り列車の驛を通過する毎に停車すると否とに拘らず横吹く雨をも厭はずブリッヂに立ちて送迎の人々に一々挨拶され又途中より送迎の爲め乘車する人々を引見して一々其の勞を犒ひ地方の狀況を聽取されたり八時五十分大邱に著す五分間停車す驛には軍隊在鄕軍人會員赤愛會員官民學校生徒等千餘名整列す總督はプラットフォームに降り立ちて

◇出迎人の面前を一巡し町驛に送迎に對する挨拶ありたり此の驛より總督の令弟にて大邱地方法院安東支廳の判事の夫人令孃を伴ひて出迎へたるに總督は欣然として令弟一家の安否など問はれながら打連れて乘車され久方振りにて令弟の夫人を打語らる列車の倭館驛を通過する頃は降雨愈々烈しかりしが驛には小學校普通學校生徒等端然と整列して送迎したり若木驛附近より雨小降りとなり九時五十分今回の改築線新驛金尾驛大新驛を過ぐる頃

◇雨全く止みて 寒氣加はる

秋風嶺驛にては鈴木慶北長官一行辭して下車し抱忠南長官、櫻井同警務部長出迎乘車す此驛にて前忠北道長官朴重陽氏出迎へ官海を退きたる後經營せる農園の梨なりとて贈る總督其の厚意を謝し農園の模樣等を聽取すこの頃より今迄の荒天何時の間にか晴れて列車の進むに連れて青空一碧拭ふが如し大田驛にては同地聯隊兵の堵列せるを始めとし官民千餘名整列す總督亦下車して送迎の勞を謝し列車の發するに當つて整列せる日鮮の學生等は萬歲を三唱す總督はブリッヂに立ちて崇禮として

◇擧手答禮しつゝ 大田驛より昌德宮御使尹德榮子德壽宮御使金春熙男及李完用伯李秉武子等出迎へ尹子爵金男爵は直ちに列車中にて兩宮より總督御迎への由を述べ總督よりも叮嚀なる挨拶あり烏致院驛よりは石塚東拓總裁閔李王職長官小宮次官國分事務官閔泳徽子爵其他多數の朝鮮貴族京城より多數の官民出迎へあり此の驛にて抱忠南道長官一行辭して下車し松永京畿道長官隈部々長出迎への爲乘車す各驛の送迎は愈々盛を加へ停車毎に官民の出迎への人々乘車し全列車人を以て埋められかくて午後三時歡聲溢るゝ京城に著せり



釜山埠頭の歡迎門

▽今日!!街を擧りて 小春日和を浴びつゝ

新總督出迎の人々

四温の空は暖かく晴れて新總督を迎ふる京城の街は日の丸の國旗が翻翻としてゐる、街は本町通も南大門通りも黄金町も鍾路通りも長谷川町も旭町も大和町も南山町も永樂町も街といふ街は何れも

□瀟洒な裝ひ を凝らして擧ある今日を祝ひつゝある、倭城臺官邸は朝から緑門のあとも淸々しく正門の歩哨も特に儼然としてゐるやうに見ねる小春日和の南山には大神宮社頭にも鼠色の總督府にも大きな日の丸の旗が悦びに靡いて見渡す限り

□滿街の國旗 である此の日の總督の列車を迎へる南大門驛は驛頭眼覺むるばかりの大國旗を交叉し中央貴賓室には棕梠竹の盆栽を置きたる瀟洒なる裝飾に新らしき數脚の椅子を並べ歩廊には駐剳軍々司令部第十九師團の將校を始め色あざやかなる分會旗を飜したる在鄕

□軍人の一團 とそれに制服著けし總督府の各高等官、絹帽フロックコートの外國領事團朝鮮貴族團、民官代表者等あり猶ほ白襟紋付の赤愛會役員等夥しき人波を打ちつゝも靜肅に列車の著驛を待つ、また驛頭より南大門に向ふ街路の西側にはカアキ色の軍服に

□銃劍の光り 眩ゆき歩兵第七十八聯隊の一大隊及び朝鮮歩兵隊の一中隊堵列し猶ほ勇ましき騎兵儀仗兵の一小隊は紅白の槍旗鮮かにつゞめて其の左翼及び道路の東側には制服制帽の總督府及び所屬官署判任官約三千名整列し後方歩道の人々と共に到る處人山を築いてゐる南大門内側より

□南大門通り を朝鮮銀行に出で黄金町街角より東拓前を經て黄金町一丁目に到る間には府内々鮮人各學校生徒徒列し名種專門學校生徒及び中學生徒制帽制服姿と小學生及び女學校生徒のリボン等數町の長きに連り更に周衣姿の朝鮮側學校生徒の整列と共に非常なる壯觀を呈した

□總督の列車 は茲半時間にして堂々南大門驛に入るべく南大門通り鮮銀前の廣場は町旗を飜した各町總代其他一般の出迎者を以て埋められた有樣である(午後二時迄)

◇面長に頌德碑

忠南大田郡柳川面坪里に於ける耕地は今より十五年前洪水の爲め同里上部の艾川堤防約六百間破損し爲めに出水の際は直に同平野に氾濫し耕地は年々河身と化し其の面積實に田千三百餘斗落畑千五百十餘斗落に及び住民の蒙る損害莫大なるを以て堤防工事に著手せんとの議度々起りたるも何分浩大の工事なるを以て其儘になり居たるが昨年該面長南廷晳氏は熱誠に之れが改修に盡力し道の技術官の設計監督を乞ふと共に一面大地主たる朝鮮興業株式會社より二千七百五十餘圓を其他地主より千二千六百餘を出金せしめ同面賦役三萬八千餘名を徴發し昨年九月より起工し本年十月に至り漸く完成を告げたり其結果本年の如き數回に亘る稀有の出水にも何等の被害なかりしを以て茲に七十餘名の兩班有志は互に出資し頌德碑を作り郡守其の他百餘名の臨席を乞ひ本月一日同堤防に於て盛なる立碑式を行へり(公州)

●大山公爵危篤に陷る

頻りに睡眠を嗜む=大官續々參邸

九日午後九時發表の大山公の容態は脈搏薄く經過不良となり睡眠を嗜み左側肺部の加答兒症狀益々増大し喀吐起り午後六時より八時迄の間に粥汁百瓦スープ三十瓦鷄卵の玉子一個を攝取したり體溫三十五度乃至三十八度脈搏九十乃至百三十八なり猶同邸には九時過より上原參謀總長大島陸相寺内首相等來邸し邸内何となく慌しき氣味なるは公の重態を暗示するものゝ如し(東京特電)

讀者文藝(一等には賞品を呈す)

▽下旬附『糠に釘』

○糠に釘潜航艇に速射砲(一等) 龍岩浦 海坊子

▲豆腐でたゝく親心 龍岩浦 助州

▲打つてもきかぬ强意見 龍山 彌生

▲馬耳東風と聞流し 龍岩浦 李阿彌

▲とは思へ共[illegible] 龍山 正木正

▲とは知りつゝ親心 龍山 岡本生

●大阪安治川 渡船轉覆

九日夜大阪安治川にて渡船と第三電信丸と衝突し乘客全部水中に覆沒し十八名は救助されしも二名は行方不明なり(大阪特電)

灯ともしごろ

南山町で皷の仕立屋さんがある此男現在藝者を家内にしてゐる程で得意先は南山町から旭町界隈の藝者が多いところがその藝者から仕立方を依頼された澤山な柔か物を十數點百餘圓を横領して南山町の質屋に數回に百餘圓に曲げ込んで消費したので其筋から檢擧され京城地方法院で懲役一年の判決を受け之を不服として覆審法院に控訴したが此程棄却となつた▲其の公判に證人として出廷した被害者の藝者連の中には『土屋はんは其麽惡い人ではないから許してやつて下さい』と申立てた同情者もあつた▲而して裁判官が土屋に對し『何故藝者を妻にしたか』と訊ねた時土屋の答辯が振つてゐる、曰く『藝者を妻にしたのではありません妻を藝者にしたのです』

貰つた金で遊興 大分縣大分市生れの須藤孫雄(二)は京城南大門町口[illegible]京城龍山水原等にて遊興消費し[illegible]

向局集配人姜進甲(二九)は六日午後零時二十分頃京城電氣會社の黄金町より[illegible]急手當を受けたり

●並木町で御用 京城並木町[illegible]

時 釜山入港新羅丸 二等客[illegible]

■讀者文藝課題募集規程■ [illegible] ▲用紙は端書又は半紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣 晴れ時々曇り ▲十二月十一日(舊十一月十七日)[illegible]

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

◎幸運の御方は何誰?
■一等一本(絲錦丸帯) 八五一
■二等二本(小形化粧道具) 五一五 七一四
■三等十本(置時計又は相當品) 四八 一〇八 二一五 二三〇 三三一 三八六 四一〇 四三三 六六五 九五三
■四等五十本(ニッケルマッチ入又は相當品)
二三三 一八七 三〇〇 三五六 四四六 五〇八 六〇五 七〇五 七六七 八九五
六四 二二〇 三〇二 三八〇 四四九 五四九 六四〇 七〇八 七七〇 九三四
七五 二四四 三一六 三九五 四七〇 五五四 六六九 七二三 八一七 九五九
七七 八一 二六三 三三五 四一九 四八三 五六四 六七三 七五三 八五九
一〇〇 二六九 三五二 四二〇 四八九 五七九 六九九 七五八 八七三
■五等(マッチ一包宛) 九三七本
景品引換場所 明治町二丁目當社
引換期間 自大正五年十二月十一日 至大正五年十二月十七日
東亞煙草株式會社

開業
齒科 口腔科 大澤醫院
京城大和町二丁目
京城本町四丁目せとものや角より半丁南
診察時間 毎日 自午前九時至午後六時
齒科 大澤義誠

今!!歐米各國に最新流行の贈答品はスワン萬年ペンを歡迎せり

萬年ペンに數種あり唯一種の權威ある本品を撰み給へ最も本品は宮内省御用品にして既に社會に定評あり本品の一管は實に八九年間の御使用に耐ふ各地到る處の文具店に販賣せり定價壹圓以上拾貳圓に至る各種カタログ進呈
發賣元 大阪市東區平野町二丁目 スワン萬年ペン本舗

十二月十日より
聯合景品附大賣出
◎毛布(二枚續き貳圓五十錢以上)
◎皮より強い柳製特許鞄
◎東京製トランク
◎各種鞄製造販賣
◎魔法瓶中瓶取替
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三三四番 振替京城一三四番

……して五十圓を預かり内十三圓は……に交付したるも三十七圓は着服して……院にて懲役一年の處分となれり

●集配人の負傷　京城光化門郵便……部等を強打し治療數日を要する負傷をなし鍾路一丁目共愛堂醫院にて……

●連絡船上陸客　九日午前九……

●夏目漱石氏　胃潰瘍にて逝く

夏目漱石氏は豫て胃潰瘍にて東京市牛込區南町の自邸に引籠り療養中の處一時小康を得たるも七日午後に至り再び險惡の狀態に陷り諸名醫の看護も其甲斐無く九日午後六時五十分終に逝去せり享年五十歲（東京特電）

逝ける夏目漱石氏

▽文壇の奇傑

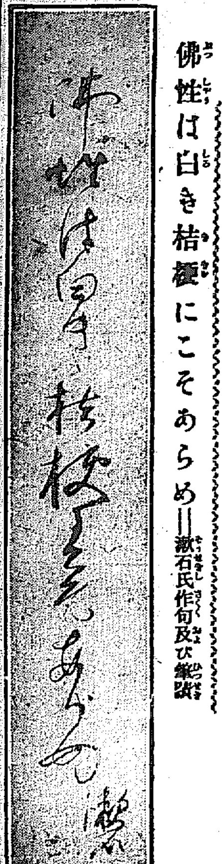
文壇の奇傑として又『我輩は猫である』の著者として知られた漱石夏目金之助氏は東京府平民夏目直矩氏の舍弟に當り慶應三年正月五日を以て生れ明治十四年東京府尋常中學校に入り

◇兼ねて　二松學舍に入り漢學を修め更に成立學舍に英語を學び後大學豫備門第一高等中學を經て同二十三年帝國大學文科大學に入り英文學を專修し同二十六年卒業して

◇文學士　となつて大學院に入り二十八年以來愛媛縣立尋常中學校教諭に任ぜられたがその後雜誌ホトトギスに連載されて評判の良かつた小說坊ちやんは此の時の敎師生活を寫したものだがその後第五高等學校

◇教授を　勤め辭して英國に遊び留る事二年間當時滯英中の創作にかゝる倫敦塔は當時の文壇に大なる刺戟を與へたもので歸朝後帝國大學文科大學講師となつたが間も無く之れを辭して新聞記者

◇生活に　入り草枕、虞美人草それから門、三四郎、彼岸過まで最近大阪朝日に連載中の明暗など氏一流の透徹した筆で書かれた小說が多く先年友人なる前滿鐵總裁中村是公氏に會ふべく滿洲に赴く際京城に立寄つた事はその旅行記滿韓ところ〲に現はれてゐる



佛性は白き桔梗にこそあらめ＝漱石氏作句及び筆蹟

◆吸殼に注意せよ

京城若草町大工申慶順（三三）方の藁屋根より七日午前零時半頃發火し大事に及ばんとせるを折柄巡廻中なりし本町署永樂町巡查派出所の警官が認め家人及び附近の者と協力して消止めたり多分通行人が煙草の吸殼を棄てたるものより發火するに至りたるものならんと

◎樂しき父兄會

▽學校と家庭との聯絡に關する意見の交換

仁川尋常高等小學校にては九日午後二時三十分より父兄會及び兒童保護者會を催したり開會前午後零時三十分より一時間各學級に於て父兄の

▽實地授業參觀　の後學級擔任敎師と兒童保護者との懇談ありたるが二十九學級共二十名乃至四十名の父兄の參觀ありて何れも家庭に於ける兒童の日常生活及び校庭に於ける生徒の勤怠等に就いて懇ろなる意見の交換其他種々家庭と學校の聯絡に關する懇談を爲したり。斯くて定刻講堂に於て父兄會を催したるが開會と共に中島校長は學校と家庭との聯絡の現狀及び

▽將來の希望を　述べたる外兒童保護者會總會に移り奧田會長より同會の現狀及び將來の希望を述べ次いで大正四年度の收支決算報告ありて午後四時全く閉會したるが來會者七百名以上に達し講堂に溢るゝの盛況なりし因に保護者會の事業成績は收入二千五百七十四圓九十五錢支出は二千百三十九圓四錢にて會員數は千百八人に達しつゝ有り事業の目的は生徒に對し學校用品の統一を計らんが爲め半紙圖畫算術雜記帳鉛筆大單小單手工用具等必要なるものを給與するものにて非常の効果を收めつゝありと（仁川）

△會のいろ〱▽

●赤木平壤中學校長出張　平壤中學校長赤木萬二郎氏は事務打合せの爲め十日上京したるが氏は歸任の途次黃海道海州に赴き同地方各地の敎育事業狀況を視察する由（平壤）

●延安日宗婦人會　黃海道延安日宗布敎所にては八日午後一時より定例婦人會を開催し[illegible]布敎師の說敎あり終つて餘興に移り散會したるが非常に盛會なりき

●延安の講演會　黃海道延白郡延安邑にては六日午後八時より鳥居龍藏氏を招聘し人類學上に關する趣味ある有益なる講演を開きたるが聽講者多數盛會を極めたり

神社とお寺と敎會

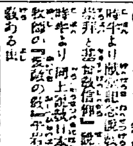
○西本願寺（若草町）　十日午後七時より松[illegible]師の講話あり

○東本願寺（南山町）　十日午後七時より日曜講話あり

○メソヂスト敎會（旭町二）　十日午後七時半より贖罪記念說敎ありて平岩監督の『神社崇拜と基督敎信仰』說敎あり猶ほ十一日午後七時半より同上說敎並にメソヂスト仁川敎會[illegible]の『[illegible]』平岩監督の『基督敎の[illegible]』說敎ある由

□日曜漫畫　化もの煙突＝めちや吉畫＝

毎日〻〻〻〻と眞黑い煙を吐き出して居る茶目のお家の煙突は不思議な煙突です風の有る日には煙が黑熊に化けてお隣りの野良猫を威かしたりします。又或晩泥棒が屋根を傳つてやつて來ました。ところが突然煙突から巡査が化けて出たので泥棒先生大吃驚をして轉げ落ちました。めでたし〱



◇かにやきつけ　かにの身をはなしてだしみりんせうゆにて下煮をなして汁と共に器にパラ〱とならべて玉子を割りよくまぜたるを一面にかけ下火を弱くして火にかけ器の上にブリキ板金の如きものをかぶせて下火よりつよく火をのせて中身に糸への通るまで燒きつけすくい取りて皿に盛る（青木はつ）

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正五年十二月一日（定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘）

主要目次

口繪　漢江橋出流橋脚工事施行中の實況　新嘗祭供御新穀修祓式　江原道春川市街整理工事　慶南梁山郡及江原道春川郡の記念殖林

新舊總督に賜りたる勅語

西鮮に於ける棉作……三原勸業模範場技師

朝鮮最古の地理書……三浦文學博士

米國の郵政槪況（二）……矢野遞信事務官

◎大正五年度面費豫算の槪要◎各道行政區域名稱一覽表（忠南）◎十月中朝鮮貿易槪況◎九月中經濟槪況◎稻作及大豆作豫想◎果樹栽培指針（完）◎水稻優良種普及方法◎テウセンカラマツの養苗◎大正五年春季樹苗圃事業◎三線連絡運賃問題の經過◎漢江架橋工事◎咸鏡線鐵道一部開通◎朝鮮近海及沿岸定期航路一覽◎十月中鐵道運輸◎不動產登記制度（完）外數件

桐樹栽培に關する調查……高橋總督府技師

水原の瞥見……田村東京農科大學講師

◎內鮮人融和の事例（忠南第一部長）◎海藻生產調查◎雜報◎叙任及辭令◎統計◎法令及判決例◎彙報下半期目錄

大白山浮石寺所藏華嚴經高麗版の價値……渡邊彰

二宮尊德先生の人物及道德……太田京城女子高普校長

大正五年度面費歲入歲出豫算……

▲投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日

▲販賣店　京城大阪屋號書店・巖松堂京城店　其の他朝鮮各地の書店に販賣す

▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

歡迎　株式會社 朝鮮郵船

歡迎　總督閣下　清華亭

最ヨクキク　かぜねつ藥　蛇印　アンチピリン丸　にせ物あり蛇印に御注意！　十錢　十五錢　廿五錢　五十錢　丹平商會

髮なしなやかに　美し丈長がく　黑房々こ　漆のやうな　もするは　廣い世界に　パール煉香油があるばかり　――タツター――　パール愛用者がおつしやる賛話でありますは

本舖東京 平尾銑也商店　關西代理店大阪 平尾贊平支店

○飲み過ぎ○食過ぎ〇消化不良○りうゐん○胸の痞へ○胸の痛み○慢性胃弱諸症に妙です ●各藥店にあり　本舖 大阪江戶堀 猪飼史郞藥房

新築移轉　明治町二の卅（元漢城病院下横大正醫院前通）　產婦人科專門　中央婦人病院　手術室病室各等完備　院長 衣笠茂

醫化學器械一式　藥種賣藥卸商　（K）　仁川本町 北島藥店　京城本町永樂町角 北島藥店支店

第貳回直段改正廣告　醇良第一 白鶴　米價の昇騰及清酒品拂底の爲め酒價益々昇騰仕候に付不得止十二月一日より白鶴印酒外各印共大樽一樽に付更に金壹圓値上げ仕候に付不惡御諒察被成下不相變御愛顧之程奉希上候　發賣元 大阪市東區横堀二丁目 嘉納合名會社

……一週間以內に割符又は同業者見通告……者には五十錢書籍券を呈す（但何書何號と明記に限る）

明君道中記

第一席　田邊南龍口演

毎度桃川如燕氏が口演いたしまして御愛顧に相成りますさうで、私と同氏とは永らく看板を並べて出席いたして居りまして洵に深い縁故がございます。就ては御禮旁今日より私が口演いたしまして御機嫌に供へることに相成りました。乃で明君道中記と申す餘り吝な社會で申し上げぬ講談を差出すことにいたしました。是は演劇でいたしますと大和橋馬切と云ふ名題を置きまして、神戸長七郎と云ふ貴公子が馬夫を斬るといふ中幕ものでございまして、故人の助高屋高助又中村宗十郎の得意の演藝で、左の手で刀を抜くといふそこが觀せ場でございます。講談の方では二代將軍秀忠公の御子様で國千代、後駿河大納言忠長の緋子長七郎といふ方が諸侯になるべきを辭して、心の儘に諸國を往來いたし奇聞逸事を書き遺されたものを材料にして茲に明君道中記と瀬題を置いて申し上げまする處で此のお方のお話しをするに就ては御父上の駿河大納言及び二代將軍秀忠公の御經歴より申し上げなければ後に至つて興味がございませんから先づそれよりお話しいたすことに仕ります。抑も徳川二代將軍秀忠公の御臺所は大阪の秀頼公の御母公淀君の御妹君にして、信長の爲に滅されたる北近江小谷の城主淺井備前守長政の三番目の娘でありまして、是は姉上二人よりも立優り國色の聞にあり、お姫様盛りには多くの男を惱殺せしめ諸侯からして引く手數多で、奥方にしたい妾にしたいといふ望みもあつたが何うも御縁が薄うございまして、女の道に缺げ多くの男に見ねたといふ昔亂世とは云ひながら多くの男に見ねると云ふは高貴のお方にあるまじきことで、何うも然ういふことになつたが不思議であると思召す方もありませうが、最初は尾州清須の織田上總介信雄の養女になりまして、乃で織田上總介の家老佐治與太夫の倅與九郎といふ者の妻になつた、然る處御自分の御一族は段々昇進いたして御臺所又は奥方と尊敬される中に、自分ばかりは織田家の陪臣佐治與九郎の妻になつて凡々として朽果るは殘念なことゝ自分でも思つて居りました。スルと秀吉公も大層是をお嫌いなすつておゑよは我が爲には縁に繋がる妹であるが、餘り妹背が佐治與九郎ではつまらんことである、何うか引取つて然るべき諸侯の妻にいたして遣りたいものだと淀君へお話しがあると、淀君も自分の妹のことであるから時々大阪城へ出仕いたした時なぞは、淀「おゑよや、御前も佐治與九郎と縁あつて夫婦になつたのであるが、餘り身分が違ふから妾から御王君へ推擧しても遣りたいが、與九郎は然う云つては惡いが性來愚昧の人であるから、他で立身出世をさせやうと思つても自分の働きがなくては迚も出來ないこと、又上様が兎角に愚者はお嫌いであるから何も思ふ様に參らない」と時々仰せられました斯様な關係から自然と御夫婦の仲も面白なく、おゑよの方は與九郎を嫌はれ遂に離縁なされて大阪城内なる姉淀君殿の許に引取られ居られました。

クリスマス用歳暮用全部品揃
玩具は……北陸堂
京城本町郵便局前　電二四八七番

三

十二月十一日　九紫
舊十一月十八日　癸未
本命　二黒　坤　危　佛滅

△二黒　込思案の事有る日新事見合神佛の事は吉　暗剣　坤△三碧　猿にさわる事有る日新事手控若事は吉　行儀作法を守らるべし△四緑　平運の日物の下卑た事は吉　新事手控若事國盛は吉なし△五黄　厄介千萬の事有る日新事手控若事は吉　保證、帯等せぬがよし△六白　好況の日轉居入學分件名張求職　出發嫁娶　米穀肥料等萬吉△七赤　巧勞が顯す日轉居開業入學　名付棟上求　婚娶　特許　出　願等　萬吉△八白　儀ぶつた事有る日新事手控若事は吉　女子は心を荒にもたるべし△九紫　程よき日轉居　開業等皆吉　女子の心美を慕はれ立身を現す大いに振ふべきの日也△一白　弛ゆるみの事有る日新事　手控若事は吉新取引は用心せらるべし

〔演藝案内〕

櫻井町　大正館
電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

十二月七日より大提供新寫眞▲實況英皇大學運動會行幸光景○喜劇　西洋二人息子○滑稽　切らぬ顔▲立花貞二郎關根達發合同出演▲新派悲劇『命』全三卷、母の虚榮と不貞とは及んで娘の迫害となり畫工と藝妓の義俠は惡魔の奸計を打破し不貞女の悲慘なる末路正邪善惡情味津々▲伊國エクリプス會社大傑作▲探偵大活劇『魔洞』全三卷六千呎、貧窮迫りて娘はビヤホールに夜働し父は惡黨に組す日なちずして名探偵に捕へられ娘も共犯として處刑せらるべき期日迫れる彼女の貧苦は自ら惡事に餘儀なくせんとす偶々數奇の悲哀は彼女の良心を復活せしめ牧師の同情は彼女の物口の端緒を得せしめ闇黑たる浮世の裏面は彼女に奇異の反應を與へ父の殺人嫌の罪を罪させては父の懺悔等複雑にして興味深々たる一大傑作▲尾上松之助一派出演舊劇寛永祭鑑▲關口彌太郎全四卷、關口多門武藝に秀で殿の寵愛淺からず指南番山形良五郎之を嫉む、遂に多門を刺害して去る、悴彌太郎妻及び忠僕さ仇討兎許を得て諸國を遍歴して武士の心膽を錬る偶々敵の奸計に陥り塗炭の苦しみに遇ふも忠僕は漁夫に救はれ彌太郎は遊び相に至り偶然妻及び忠僕に再會し大久保彦左衛門及び御坐の但馬守の計らひにて首尾克く仇討を遂げるに至る迄例に依而目玉松之助一派大車輪の長尺物

明治町　浪花館
電話二六〇
新時代の浪花節吉川今勝一行來る

▲毎夜六時開演●本日よりの讀物△義烈百傑（吉川都）△征韓論（吉川鐵舟）△熱田利生記（浪花鉾昇）△實録小栗判官（吉川容堂）△精華義士傳、根の拳銃、長謡二席（吉川今勝）

黄金館
電話一八五二（階上）二六三七（階下）
天然色活動寫眞株式會社商會朝鮮一手代理店

十二月五日より差替特別大寫眞○實寫伊太利グレーツの景○滑稽サインの夢○滑稽上ツたり下ツたり△丁抹ダンスク會社傑作『軍事大活劇密書』（全六卷）數箇月に亘りブラクボックスた上る人殺ろる、謝りの大歡迎の下に終結を告げた然る密書は技に上物フ井ルムの選定に出る本篇を上映す、内容は襲々眼前で要せず。來り見よ一度其秘密を生？死？實に近來稀に見る……フ井ルムの井上正夫一派出演新派悲劇紅涙四卷へ新派喜劇『籤一ツ』破天荒の試み一抱腹一絶倒の配役△イロハ順△（丸山南哲）防城正（藤田國月）、南郷公利、曾生山田（芦澤初枝）、曾生本田（櫻狂風）、令嬢文子、木下米子、車夫金太（宮城美明）、東條實次（水谷十太郎）、曾生元田　日笠林之助外數名

拙者は
かぜの神である、年中あらゆる人間の油斷をのみ覘ふてゐる、而も今は拙者の最も得意の時候だから、ドシく肺炎や窒扶斯の種を蒔て苦しめてやる、其中酷く侮る奴は容赦なく殺して了ふ、然しハカリ印のヘブリン丸は拙者唯一の强敵である、拙者が如何に暴力を振ふても忽ち擊退されて了ふ。實にハカリ印のヘブリン丸には流石の拙者も兜を脱がざるを得ないのである。

本舖　大阪
合資會社　參天堂藥房
ハカリ印に御注意を乞ふ

お歳暮の品を選ぶ條件

お歳暮の品を選ぶ條件は
◎一時的のものより永久的のもの。
◎特殊的のものより一般的のもの。
◎贅澤品より日用品。
◎浮華のものより質實のもの。
この條件を遺憾なく具備するものは、
ライオン齒磨（壜入・袋入・紙箱入／水歯磨瓶入／子供用箱入）
ライオン石鹼（化粧用／洗濯用）
であります。

御歳暮品の品格は、そぞろに其人の人格を偲ばせます。浮薄なる贈答品、情味の無い贈答品、冷淡なる贈答品は必ず避けなければなりません。
ライオン齒磨やライオン化粧石鹼のやうな堅實なる贈物は、品位もあるし、實用にも適するし、また何人にも向くし、誠に申分のない御歳暮品でございます。
（進物用には丁度誂向の製品や包裝がございます。）

ライオン齒磨　ライオン石鹼
東京本所外手町　本舗　小林富次郎
支店　大阪・名古屋
（5−719）

十一日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直[illegible]　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯用　營業用　振替貯金口座　[illegible]

東京より

在京　鐵骨生

○英國の首相アスキス氏が戰局に對し持久戰を維持せんと欲するに對し陸軍大臣ロイド、ジョーヂ氏以下は聯合軍に今一層の活動を起さしめ、戰局を速かに終結せしめんとの希望を有し、其希望の容られざる結果ロイド、ジョーヂ氏は辭表を提出し、アスキス氏は內閣改造に對し皇帝陛下の裁可を奏請したりとの報あり、改造後の內閣が尙持久戰の贊成すべきか、或は急激なる戰略を採るべきかは不明なるが、英國が戰局の前途に關し不安の念を有するは明白なり

○夫れ英國は獨逸飛行船と巡洋艦の襲擊を受けたる外未だ本國は敵に侵されず、戰局の進捗が遲々たるに對しては固より不滿の念を起すべき理由あれども、露西亞の如きは英國が本國を敵に侵されず、却つて戰爭の爲めに金を儲けつゝあるを見て、英國を以て聯合國中の幸運兒として羨望する氣味あり、故に一個の考へよりすれば、持久戰を持續して徐々に獨逸の苦境に陷るを待つを得策ならずとせず。

○而かも戰局の發展は英國が持久戰を欲するも之を爲し能はざる形勢あり、卽ち今夏羅馬尼亞が聯合軍側に立ちて獨墺と戰ひたる際、此一事が獨逸をして屈伏せしむる機會とならんと期待されたるに、事實は之れに反して、獨墺軍は羅馬尼を席捲し羅國の運命は風前の燈たる觀あり、此形勢が羅馬尼の參戰に對し多大の責任を有する露西亞に反響して、露國に漸々單獨媾和を欲するものゝ出で來らんとする形勢あり、露國の新首相トレポフ氏が獨逸を征伏する迄は戰爭を止めずと、力說する裏面には之れに反對なる議論の漸く力を加へ來りたるが爲なる事推察に難からず

○若し露國にして單獨媾和を敢てして、獨墺に對する東方の壓迫が除去さるゝに於ては、獨墺は全力を擧げて佛國にある英佛軍に向ふべく、從つて聯合軍の地位に多大の變化を生ぜずとも限られず、此危險に對して相當の準備をなすは英國の政治家として當然の義務なり、而して戰局の變化するを防ぐ爲めには、此際英國が一層の努力をなし能ふべくんば獨逸を急速に屈伏するに如かず、ロイド、ジョーヂ氏は[illegible]興の柱石たる觀あり、彼が先づ此形勢を觀取して其國民を覺醒せんとするは、實に國家に對して忠なる者と云ふべし

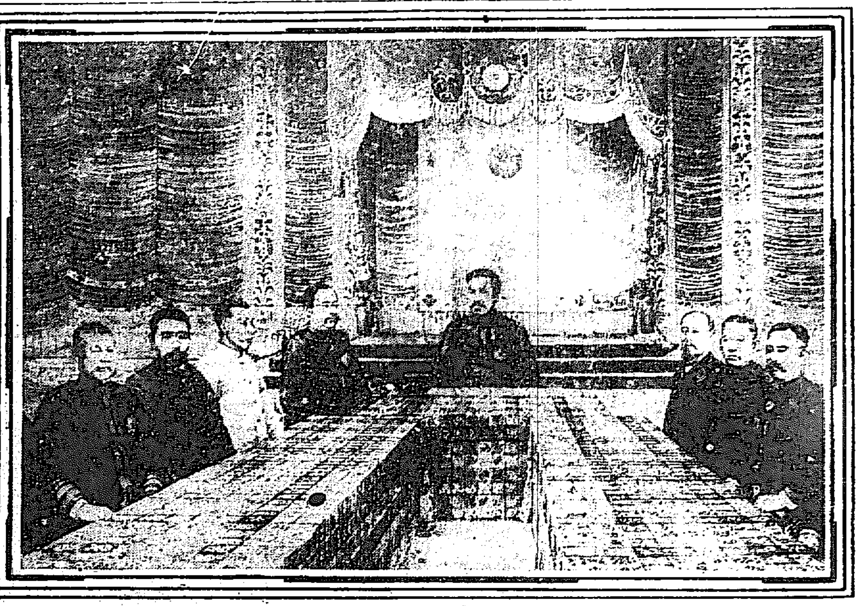
○アスキス氏は老成練達の政治家なり、英國の聯立內閣の首相となり、多數の閣員を調和しつゝある技量は實に重要に値するものあり、而かも今日の如き非常の時機に際しては非常の決心を要す、彼が今後の決心は英國のみならず、聯合國全般の前途に關するものあり、吾人は彼が其內閣改造に際して判斷を誤らざらん事を希望するものなり（十二月五日）

北滿の商業（中）

東亞ロイド紙所載

▲製粉市場に於ける現象も亦右と同樣にして麵麭製造業者は製粉場の爲す所に追隨し麵麭一磅に付二哥乃至三哥の値上を爲すに至りしよりブラゴエチエンスクの製粉場主の一團は哈爾賓に於て一製粉場を建設する計畫を樹てたりと傳へらる斯の如く哈爾賓にては事々物々投機的傾向を帶ぶる爲め一物として其市價の確實なるは無く例せば乾草の如き哈爾賓に於る數週間前の市價は一磅九十哥乃至六十哥を唱へしに反し鐵道の西部及び南部線に於ては僅かに十七哥乃至二十五哥を價せしに過ざりき然るに其後二週間を經るや哈爾賓の市價は一躍九十哥となり最近に迨びては已に百五十五哥に暴騰したり之れが原因は東淸鐵道に於ける運輸機關の缺乏にして哈爾賓市に大なる貨物の貯藏を爲さしむること不可能なる結果なるは云ふを須ゐず又運搬業者は蒙古に於ける馬匹が露國によりて買收せられし爲め馬匹を得るに難く西伯利にては全く一頭の馬匹をすら得る能はざる狀態にあるを喞ちつゝあり啻に馬匹のみならず西伯利より乳牛を輸入することも均しく至難にして良種のものは今日三百五十留を値するに拘はらず大連の日本人は同地に牛酪製造所を建設せんとして種牛を購入しつゝあり又獸肉商人は約十四日間に牛肉の市價を十六哥より三十哥に値上げし尙ほ輸入に付特別の手數料を支拂ひて靑島よりの屠牛の來らんことを待てり

▲チタ市に於ても同地の糖菓製造所用として哈爾賓より豚を輸入する爲め車輛の調達に腐心し居れるが若其目的を達するを得んか縱令ウラジオストックは比較的近距離なる靑島より直接に屠牛を輸入し哈爾賓は其地方の牛を消費するを可とするにせよ哈爾賓よりウラジヴオストックに向うて多量の屠牛を輸送するに至るべし西伯利の鮭もアムールに於る全貯藏が悉く軍隊の爲に徵發せられたるにより甚しく騰貴したるが內國の魚類商人は不漁を名として其地方の魚類の市價を引上ぐる爲め此事實を利用したり柔皮椰子油砂糖等も同じく騰貴せり前二者は兎も角哈爾賓製糖工場の如きは哈爾賓に在る五十キロメートルの甜菜畑よりして本年四十萬プードの甜菜を收穫したるに今や水量の減退により甜菜の輸入を妨礙さるゝに至れりとて糖價は一磅に付三十四哥を報じ居れり



□日淸戰役大本營御前會議に於ける大山公（中央）明治天皇（左側）故有栖川宮熾仁親王（當時參謀總長）山縣公（內務大臣）故西鄕從道侯（海軍大臣）故樺山伯（軍令部長）（右側）故伊藤公（總理大臣）故大山公（陸軍大臣）故川上子（參謀次長）

大阪より

▲鐵貨停滯益夥　朝鮮穀物出廻期は延いて滿陸の輸送に影響を及ぼし居れるが就中海運の船腹不足は運賃の暴騰を促したるより從來船便に依れるものさへ鐵道便を利用し來れるより鐵道院に於て貨車の供給不足を告げ居り大阪荷扱所の如き到著荷物約數千噸に達せる狀態なるが一方各運送業者の荷役作業至極緩漫のため漸次停滯をなさしめ居れり又發送荷物も到著荷物停滯の融和策として發送を一日百二三十車內外に制限せるより尙一層の停滯を醸生し居れる由なるが之により蒙れる荷主の迷惑尠なからずと

▲大阪商船好況　大阪商船會社の本期の利益は約千四百萬圓に達せるが來期は更に非常の收益增加を見る可き豫想にして臺灣甘蔗作豐收のため粗糖運賃のみにて約百萬圓內外の增收（戰前に比し運賃三倍に昂騰）其他朝鮮航路（戰前二十圓の運賃に比し四倍にして船腹手廻り兼ねる狀態）を始めとして更に開航する濠洲航路の如きも假令郵船と競爭するとも貨物運賃の增收確實なるを以て利益激增は殆んど豫想外に達する由而して豫て問題に上れる增資案は來年一月の總會に提出せらるならんと

▲鮮鐵大阪と貨物　十一月中の朝鮮鐵道大阪出張所の大阪荷扱所により發送されたる貨物收入は二十三萬九千五百三十圓三十九錢發送貨物五萬七千八百三十一噸にして前年同期に比すれば收入二萬二千八百五十九圓九十六錢噸數一萬五千二十三噸の增加にして尙ほ行先別を示せば朝鮮行二千二百四十七噸滿洲行千四百十七噸東淸行二百十一噸なりと

▲コークス値上　大阪コークス同業組合は最近より三四回の値上げをなしたるが尙六日各級を通じ三圓方の値上げをなしたる由にして上物四十圓安物三十三圓見當を唱へ居れりと

▲汽船消息不明　神戶勝田銀次郎氏が八馬汽船より買入れたる海邦丸（四一五八噸）は先月九日門司より英領蘭貢に向ひしが其後消息不明につき其安否を氣遣ひ居れり（大阪支局）

日報詩壇

○秋日山行　竹田　蕉雨
山繞谿回一逕通。危巖絕壁躑躅紅。夕陽描出丹靑妙。疑是天成地設工。
評曰　句亦見弄巧

○賞菊　三國谷三城
傲霜菊發竹籬邊。一色露淸秋曉天。滿砌由來比何物。蕙香和酒醉陶然。
評曰　結七字見妙

○秋雨懷鄕　西村　秋湖
星霜六値漢陽秋。窓外還看落葉稠。一夜遊人思鄕夢。兒來不耐雨聲愁。
評曰　又見眞語、起承最可誦

○秋日山行　三國谷三城
獨登北岳路崢嶸。浩浩天風步步輕。回首夕陽紅樹裏。炊煙多處是京城。
評曰　詞思縹緲、有仙音

○秋雨懷鄕二首　竹田　蕉雨
更闌燈暗雨聲稠。點滴梧桐搖客愁。吟夢空驅千里路。黃花紅葉故園秋。
孤燈明滅漏更殘。又値秋風客恨酸。白髮十年歸未得。終宵打夢雨聲寒。
評曰　語語眞摯、不費雕琢而妙

○觀楓逢雨　阪上　怡庵
紅楓燃處夕陽催。一幅丹靑活畫開。雨過滿林霑錦繡。冷雲忽地罩山來。
評曰　一氣呵成

日報歌壇

何人も顧まず吾れは弱きまゝ世に揺れつゝも生きんと思ふ　京城　高須賀　默

霜柱朝日受くればさらさらと音して崩るゝ心地よきかな　龍山　岡本　小草

けふも亦大根畑にたゞずみて太りゆく身を喜びにけり　京城　朝　夫

こゝろ今は遠くなりにき靜かなる夜のみ空を月渡るごと　京城　樋崎あづま

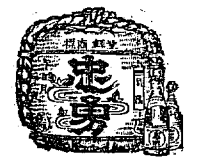
長閑にも教會室の鐘の鳴る晴れし小春の街を行くかな

商業登記

一日本ウール羅紗株式會社支店（變更）
一朝鮮ニ於ケル代表者柿沼幸之助ハ大正五年拾壹月參拾日解任シ左者同日朝鮮ニ於ケル代表者ニ就任ス　朝鮮京畿道始興郡北面堂山里百四拾番地　仁位信親
一地番號設定ニ因リ支店所在地ヲ左記ノ通リ變更ス　朝鮮京畿道始興郡北面堂山里百四拾番地
一大正參年壹月七日各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ金參拾圓ニ變更ス
一大正參年拾月八日各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ金四拾圓ニ變更ス
一監査役左記貳名ハ大正參年拾貳月拾九日重任ス　東京市日本橋區北鞘町五番地　岡部彌三郎　東京市神田區橋本町一丁目壹番地　橫山進一郎
一取締役森平吉、成塚赤吉、鈴木宗兵衞、芳賀清久、陶山彦太郎ハ任期滿了ニ付キ大正四年拾貳月貳拾參日左者取締役ニ就任ス　東京市日本橋區馬喰町四丁目六番地　成塚赤吉　東京市日本橋區元大工町四番地　鈴木宗兵衞　東京市本所區新小梅町貳番地　陶山彦太郎　東京府南葛飾郡龜戶町大字柳島貳百六拾八番地　芳賀清久
一大正五年參月參日目的ヲ左ノ通リ變更ス　一、ウール羅紗及同加工品　一、毛織物ノ紡績　一、フヱルト毛氈及加工品　一、前各項ノ類似品
一取締役陶山彦太郎ハ大正五年五月貳拾日其住所ヲ左ニ移轉ス　東京市本所區向島小梅町貳百四拾四番地
一大正五年八月四日各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ金五拾圓ニ變更ス
一支配人解任　主人　日本ウール羅紗株式會社ハ大正五年拾壹月參拾日支配人柿沼幸之助ヲ解任ス
一支配人選任　支配人ノ氏名住所　朝鮮京畿道始興郡北面堂山里百四拾番地　仁位信親　主人ノ氏名住所　東京府南葛飾郡龜戶町大字柳島貳百六拾八番地　日本ウール羅紗株式會社　支配人ヲ置キタル場所　朝鮮京畿道始興郡北面堂山里百四拾番地　日本ウール羅紗株式會社支店
右大正五年拾貳月七日登記
京城地方法院永登浦出張所

外勤員採用
各地駐在　希望者は履歷書送附あれ
福岡市天神町二番地
日本徵兵保險　福岡出張所

謹告
昨年本島產蜜柑當地に於て試賣に附せし處多大の好評を以て迎へられ候段感謝の至りに不堪候今年は愈々本會の決議に依り朝鮮は京城を主として移出致す事に相成候就ては第一回品質精選の上拾七噸（石油函入五百卅箱）送達致し前記㊇藤岡商店を指定販賣致させ候間益々御愛顧御好評あらん事を乞ふ
指定販賣店　京城南大門市場　㊇藤岡商店
徳島縣農會

品質の優秀は
絕對の信用を博し
最後の勝利を獲得す


酩酒
宮內省御用達　攝津灘新庄家　釀造元　若林合名會社
特約店　京城本町三丁目　山本富之助商店　電話五七五番

歲末年始　御進物用最適品

賣出煙草
敷島。芙蓉。武藏野。大和。朝日。
百圓。ウエルスは一ボールに付景品券一枚進呈
ヘルメツト貳ボールに付景品券一枚進呈

▲景品引換及抽籤場所　京城明治町　東亞煙草會社朝鮮總販賣所　仁川新町　官煙販賣組合　大田。水原。開城。海州は所在官煙販賣組合

▲賣出區域　京城及仁川附近　太田。水原。開城。海州

賣出期間　大正五年十二月七日から大正六年一月五日迄

年末年始　景品附大賣出し

空籤一本もなし

景品種目

第一等	白米一石又は丸帶（高島屋製）	二〇本
第二等	商品切手（金五圓御希望の商店）	四〇本
第三等	鞄。女持手提	八〇本
第四等	莨入。小田原提灯	八〇〇本
第五等	煙草一包宛	三〇、〇〇〇本
第六等	郵便葉書一枚宛	四四、〇〇〇本

▲抽籤期日　京城　十二月十七日、二十四日、二十八日、一月十日　仁川　十二月二十日、二十九日、一月七日、

□注意□　抽籤と同時に景品御引換可申候　期間中と雖も賣り切れの場合は締切可申候

東亞煙草株式會社

◎聯合軍の希臘封鎖

雅典電報に依れば聯合軍は希臘に對して封鎖を行ひたり尤も過般希臘が聯合軍の一隊に加へたる無法なる攻撃に對し賠償を爲さば右封鎖は解除すべしと(紐育電報)

◎遣日特使は熊希齡?

國務院にては曹汝霖氏遣日特使中止の結果熊希齡氏を選定したるが右は黎總統も異存なき模様なり(北京電報)

◎大山內大臣薨去

豫て重態を傳へられし內大臣元帥陸軍大將公爵大山巖氏は十日午前十一時四十一分終に薨去せり

▲大山公爵畧歷

公爵は舊鹿兒島藩士大山彦八氏の二男にして天保十三年十月十日を以て生れ通稱を彌助又は淸海といふ戊辰役東北の野に轉戰して功あり明治二年普佛戰爭に際し視察の途に上り巴里攻圍の狀況を目擊して歸朝同四年兵部權大丞に叙せられ尋で陸軍大佐となり爾來累進して同二十四年陸軍大將に陞り同三十一年元帥府の設置せらるゝや元帥の稱號を賜はる其の間陸軍少輔陸軍卿代理兼東京鎭臺司令長官參謀本部次長陸軍士官學校長內務大輔大警視議定官陸軍卿參謀本部御用掛參謀本部長陸軍大臣海軍大臣文部大臣樞密顧問官等の顯官に歷任せり征南役に際しては征討別働第一旅團司令長官として各地に轉戰して功あり明治二十七八年戰役に際しては第二軍司令官として出征し金州旅順の要地を占領して奇功を奏し明治三十七八年戰役に際しては滿洲軍總司令官の大命を拜し滿洲に出陣して帝國の國威を宣揚せり後正二位大勳位功一級に陞叙し公爵を授けらる明治四十四年維新史料編纂會顧問仰せ付けられ大正三年內大臣に任せらる昨に大演習陪觀後去月十七日歸京の途次兵庫縣須磨に於て發病歸京後重態に陷り終に薨去す危篤の趣天聽に達するや特旨を以て從一位に叙せらる享年七十有五歲

◎大山公國葬決定

大山公爵の葬儀は國葬と決定し十一日臨時閣議を開きて之れに關する諸般の準備並に日取を協議決定し勅裁を仰ぎ官報號外を以て發表せらるべし(東京特電)

◎大山公叙位

內大臣元帥陸軍大將大山巖公病氣危篤の趣き天聽に達するや畏き邊りにては公が維新以來の勳功を思し召され十日左の如く特旨叙位の御沙汰ありたり(東京特電)

內大臣元帥陸軍大將正二位大勳位功一級公爵　大山　巖

叙從一位(特旨)

◉露國禁輸案發布

某所著の露都發電に據れば奢侈品輸入禁止法案は數日前遂に發布せられたり其細目表は商工務省より作成し閣議の修正を經て後法律として發布さる可く目下內閣に回附中なるが商工務省の概算に據れば輸入禁止品の一箇年輸入額は八千萬留に達す可しと(大連)

薨去せる內大臣公爵大山元帥

◉關東州鹽打擊 州外輸送取締の勵行

關東州の天日鹽は產額豐富なるにも拘らず販路不充分の爲め動もすれば生產過剩に陷り需供調停上常に多大の苦心を要する事なるが內地方面は官鹽との關係上其の輸入に制限あり朝鮮も官鹽及び山東鹽との關係にて意の如く其の販路を擴張する能はず猶ほ微々たるものにて言ふに足らず近年南洋方面に多少の輸出を見るも浦鹽地方へ輸出さるゝ事あるも是とて充分のものには非ず

▲滿洲奧地への移出　之れが支障なく行はるゝ事なれば別段問題にもならざる事なれど關東州外への移出には支那稅關の支配を受けざるを得ず而も其の關稅を課せられては山東鹽と角逐する能はず況や山東鹽は無稅輸出の實行を見るに於てをや茲に於てか關東州鹽の滿洲奧地移出は從來支那商人等が爲し來れる一種の慣行に依り或通路を取りて行はれ斯くて辛うじて生產過剩に傾き易き州鹽の需供を調節し來れるが本件に就ては夙に支那政府より抗議あり州鹽の州外移出に就いて嚴重取締りたき旨我が外務省に交涉あり而して道は道理上拒絕し難く殊に州外移出輸送に關し直接關係ある

▲滿鐵會社に向け　更に支那政府より交涉もあり都督府も外務省よりの移牒にて滿鐵會社に照會する所あり滿鐵にては重役中に交涉拒絕の意見を有する者もある由なれど支那稅關並に條約との關係上無下に拒絕も出來兼ぬる爲め遂に取締を勵行する事に決したるが愈々州外移出取締の勵行を見るに於ては需供調節に多大の苦心を要する關東州鹽は之が爲に大打擊を受け生產上及び販賣上非常なる苦境に陷らしむるを得ざるを以て主として州鹽の製造販賣に從事し居れる大日本鹽業會社は社員を都督府及び滿鐵に派し種々に運動する所ありたれど滿鐵にては既に嚴重取締の旨支那政府の回答せるやにて今更如何ともする能はず製鹽當業者の狼狽一方ならざるが如し

▲鹽業會社重役　某の語れる所によれば支那政府は山東鹽の朝鮮輸出に對し常に奬勵の態度を執り其の密輸出を默認して年額六七千萬斤の鹽を朝鮮に送り自然關東鹽の販路を蠶食しつゝあり而して明年よりは無稅輸出の方針なりと云へば山東鹽の朝鮮輸出は一層增加すべくそれ丈け關東州鹽の上に影響を及ぼすこと大なり然るに支那政府が己れの非を棚に上げて他に正義を强ひんとするは餘りに勝手過ぎたる事ゆゑ何も斯る交涉に應ずる必要なき筈なり云々と說の是非は兎に角さなきだに需供調節に困難せる關東州鹽は州外輸送取締の勵行と共に益々苦境に陷ることなるべし(大連)

最近の大山元帥と山縣元帥(左)

◉葉煙草賣買盛況

大邱を中心とし附近の內地葉賣は今や製造家の買收始まり達城郡鳳山洞の如きは宛然東亞朝煙岩永氏等の爭奪戰場の如く爲めに耕作家は氣强く近來になき高値を示し幹干二圓六十錢乃至二圓二三十錢の好況を見るに至り又東村月背面地方の相當の相場にて賣渡されつゝありと(大邱)

◉京城局の電話增設

朝鮮各地經濟界好況に伴ない各都市の電話申込みは近年になく多數に上り京城郵便局の如き夙に豫算數の架設を終りしも尙ほ申込者續出するを以て當局にては電話豫算の差繰りを行なひ約三十口の增設引受をなす由

◉大田の補助貨缺乏

內鮮一般に補助貨缺乏の爲め金錢の授受に苦しみ居れるは悉知の狀態なるが大田地方も殊に甚しく爲めに例日の收金日の如き補助貨なき爲め集金の出來ぬ現狀何時までも持續する時は終に大事に至るべきを以て實業協會及び各銀行業者は善後策に付き種々協議中なり(大田)

◉郵便局所新設

十二月十六日より平安南道价川郡外西面三浦里に箇里郵便局を江西郡咸從面咸從里に咸從郵便所を設置する事に決定せり

◉交換高新記錄

京城手形交換所に於ける十一月中の交換高は枚數三萬六千百三十二枚金額八百八十九萬二千三百十四圓にして之を前年同月に比し三百七十萬圓の激增又前月に比し百六十萬圓の增加を見交換高の新記錄を作り居れりと

◉手形紙質改善

今夏來滿洲にて朝鮮銀行の發行せる小額仕拂手形は其の流通發行當初銀行當局にて豫想せる程の額には達せざる模樣なれど尙ほ目下の所各店發行の合計は十萬圓を超へ漸增の趨勢にあるが其の紙質に若干の缺點あり改善を要するを以て銀行にては目下印刷を了せる分約三十萬圓の發行を終らば次期の印刷には紙質を現一圓銀行券同樣と改むる事に決定し居れりと

◉司令官の招宴

秋山駐箚軍司令官は十二日午後七時より龍山官邸に米國總領事ミラー氏以下各國領事並に山縣政務總監並荒井、大屋、池田、國分、宇佐美、小原、各部局長官、外大官石塚東拓總裁、美濃部鮮銀總裁、水越拓銀頭取等を招待し晩餐會を開く由にて其々案內狀を發せり

◉京釜線工事近況

慶北に於ける京釜線改良工事は大邱新洞間は九分通(延長三哩六分)新洞若木間は十一月五日竣成(四哩二分)せりと(大邱)

◉平南兩府道路修繕

平壤及び鎭南浦兩府の市街道路即ち一二等道路にして近時著しく損壞し雨天の際泥濘殊に甚しく平南道廳に於て修繕の必要を認め平壤に金千八百圓南浦に八百圓を支出し本年內に之が修築を爲すべしと(平壤)

◉朝郵の浦港終航

朝鮮郵船會社の浦鹽航路終航は浦港結氷の爲め來る二十九日の元山發平壤丸を以て終航とすべしと

◉平壤鮮人戶口增加

本年七月末平壤府居住鮮人戶口は著しき漸增の趨勢にあり即ち七月來現在四萬六百四十六人は十一月末に於て千二百七十三人の激增を來せる割合なるが之れが月別增加步合を示せば八月百四戶二百八十九人九月九十一戶三百十七人十月六十六戶二百九十一人十一月八十九戶三百八十五人なり右は主として本道管內郡部地方より移住するものなるが仲には京畿慶北等の移住者もありて其原因目下調查中なるが要之鮮人移住の漸增は一面平壤の好景氣の反映と見るべきか(平壤)

◉露語第二期始業

京城公立簡易實業專修學校にて教授しつゝある露語科は本月末日を以て第一期の終了式を擧げ來年一月六日より第二期を開講する筈なれば入學希望者は來る二十五日限り日出校內の同校へ申込むべしと

◉平壤雜信

▲水產物輸出計畫　平安南道に於ては今夏以來蛤、煮干、竹蟶、煮干、牡蠣、煮干等を製造し試驗中の處成績良好にして之を支那滿洲等に輸出せんとするの計畫あり已に九日各製品一箱宛奉天大連安東の各商業會議所及び青島軍政署に對し見本として送附し試賣を照會せり▲府協議員補缺近し　平壤府協議會員內地人側に一名の缺員あり去る四月中後任候補を推薦し爾來今日まで何等の指令に接せざるが頃日の消息に依れば年內中には是非共其任命發表あるべく推薦候補は森田奈良治氏なるやに漏れ聞く▲最終の府協議會　來る十九日頃平壤府廳樓上に於て府協議員會を開き[illegible]使用規則改正、五年度追加豫算、市街設定等其他を諮議すべく之れ本年最終の協議員會なれば所謂納會か▲滯貨と發送不引受　釜山埠頭驛は大なる滯貨の爲め之れが調節救濟を圖るべく鐵道局の命により平壤驛は八日より向ふ四五日間を期し內地行即ち聯帶貨物の發送を引受けざる事となれるが一方內地より平壤到着貨物は依然引受を爲しつゝあり鐵道局は右局線內四五日間の發送貨物不引受の政策より釜山埠頭の滯貨を一掃し斯て貨物輸送の便を回復し爾來其順調を保有せんとするにありと云ふ

人事消息

▲富田儀作氏(鎭南浦商業會議所會頭)　十日夜入京浦尾へ

▲赤木萬治郎氏(平壤中學校長)　同上京城ホテルへ

▲エステル氏(英人)　同上朝鮮ホテルへ

▲金久保第四十旅團長▲中副官　十一日朝退京の筈

▲中村精七郎氏(中村組社長)　同上

▲佐藤陽太郎氏(晋州農學校長)　九日夜退京

南言北語

英國の政變は或意味に於て其缺陷が補はれ改善されて新に完全した政策の下に更らに戰爭に努力する事になるのだらう▲然らばアスキス內閣の爲には同情すべしであるが▲新內閣のロイドジョージ氏の所謂擧國一致內閣の爲に大に祝福せなければならぬ▲つまり今度の英國政變は持久と急進の衝突とも見られるが遠因はガリポリの戰果や巴爾幹の外交や戰勢ではあるまいか▲一體戰爭が永引くと勝ても敗ても國內に苦情が持ち上るのは何處でも同じ事である▲又た古來餘り珍らしい事でもない獨逸でも露西亞でも最近に小政變があった▲佛蘭西などはジョッフル將軍の交迭迄も唱へられ出した▲英國の政變も長期の交戰に免かれられぬ現象だと見るのが至當であらう▲政變と云へば支那でも又復曹汝霖の專使問題で紛糾を始めて居る▲其の內實は矢張南北兩派の睨み合ひである▲無論日支親善の點に就ては何の黨派も反對ではない▲反對でない代りに各々自黨から此の光榮ある使節を選出したいのである▲南方派の反對する理由は曹專使が日本に行って朝野の輿望が段內閣に傾き日支親善の標榜が北方派の手に歸せん事を憂ふるの結果である▲其處で南方派は出來得べくんば唐紹儀か張繼を派遣し日本朝野の歡心を得日支親善は南方派手中の標榜としたい希望があるら喧嘩も起る事になる▲さうすれば兩派から入選をして正副兩使でも派遣したら可さ相なものだ▲此方では何人が來ても別に何の變った事もない▲併し支那特使は時によると途中から失敬する事があるからキチンと決らない間にはウカと[illegible]も出來まい

◉滿洲の鮮人

(前南滿洲[illegible])田村幸重氏談

[illegible]居り其多くは農業の小作を營む者が大部分であります其れで朝鮮併合前[illegible]て鮮人を歡迎せなくなって來た樣な感じがします其れで吾々[illegible]迄でも此等[illegible]如何しましても今後は內地人の資本家が鮮人間に資金を貸附して農事[illegible]りますまいが而し國家發展策として[illegible]上必らず緊切な問題と思ふ

[illegible]道伴れとなり平昌郡珍富の峠路の芝原に休憩中君賓は俄かに携へたる覆面したる二名の强[illegible]害者が申立てたれば同人は即時逮捕され目下平昌警察署にて取調べ中[illegible]夜刀棍棒等を携へ鐵原[illegible]里李貞瑞方に侵入し家人を縛り上げ[illegible]

貴紳間に高き稱讃の聲は

▽純國產　牛久赤白葡萄酒の眞價を語りつゝあり!!

見よ──!

本邦生葡萄酒中の醇良品として上流社會の人氣を此一身に集め

忝くも宮內省の御用命を蒙りつゝある本酒は

如斯二大特色あり

(一)茨城縣牛久神谷葡萄園に移植したる佛國種優良生葡萄實より搾取したる儘の精良品也

(二)本酒は純國產なるを以て舶來品の如く高價なる運賃關稅を要せず隨て價格頗る低廉也

賣捌所　東京日本橋　近藤利兵衛

內科　胃腸病　診察夜九時迄

京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七・二九〇九番

日韓書房　新版報告

露國通諸大家執筆　露國研究　定價一圓　郵料十二錢

米國通諸大家執筆　米國研究　定價一圓　郵料十二錢

德富猪一郎著　大正の青年と帝國の前途　定價八十錢　郵料十錢

奥田義人著　學生論　定價八十五錢　郵料十錢

虛子著　俳諧師　正續合本　定價一圓二十錢　郵料十錢

京城南大門通二丁目

醬油値上げ廣告

今般原料騰貴に付來る十二月十五日より從來の値段に對し

一割上げ

右の通り實行仕候間不相變御愛顧の程希上候

京城醬油釀造業組合
平壤　宮川醬油釀造業組合
岩川醬油釀造所
永登浦　大塚醬油釀造所

鑛山用測量製圖器械　時計眼鏡貴金屬品

玉屋商店

東京銀座三丁目　電話京橋(長)三〇五・三〇〇六・三〇〇七　振替東京四四八八

[illegible]…て居りますが之等鮮人は一箇所に密集して居ないで彼所此所と散在して

合併後は支那官憲に於ても日本人同様な待遇をする様になりまして從つ

大部分は前申上げた通り小作人が多くて資産を以て居る輩が少ないので

も東拓が支那に手を出[illegible]第一法律の改正からして貰らねばな

[illegible]毎洞生れの雜貨行商人李禹瑞(四二)と

[illegible]を強奪せずして其場を逃走し平昌警察署管内珍富巡査駐在所に馳付け

は同人を案内として現場に急行したる結果件の賊は君實なりしことを發

生れ住所不定の黄仁秀(四三)は外數名と共謀し明治四十四年九月二十二日

京城地方法院にて懲役十年[illegible]なれり

戰は捷つに限ります
一語金鐵、難局に處して動ぜざる故公の面目
老西郷曰く、『彌助ならば何事をやらせても大丈夫』

維新の元勳は山縣、松方、大山の三元老を殘すのみとなつた大正の今日今また大山公の逝去を聞くは國家の爲めに痛嘆すべき恨事である殊に先帝陛下並に今上陛下輔弼の臣として

勳功淺からざりし公

を亡へることは日本國民の愛惜に堪へぬ所であらう大山公は人も知る如く彼の老西郷の從兄弟として由緒正しき鹿兒島藩の藩士である而して老西郷は頗る公の膽力を愛し居常毎に『彌助ならば何事をやらせても大丈夫……』と言うたものである殊に老西郷の鹿兒島藩兵を組織するに方りては公を以て砲兵大隊長となし

故川村純義伯を以て

歩兵大隊長に命じ特に公に俟つところ多かつたのである而してこのこと後年公が陸軍に頴脱するの第一歩であつたのである公は明治二年西遊し親しく普佛戰爭を觀戰し殊に巴里包圍の狀況を目睹して歸朝した當時老西郷が公の出發に贐けした長詩は人口に膾炙するところで公は實にわが陸軍に於ける西歐文明の先覺者であつたのである歸朝當時の大山公はまた懇くべき西洋文明の採長主義者であつて日常の

衣食住に至るまでも

歐風に改められたのは當時に於ては實に思ひ切つた英斷であつたそれ故に公は晩年に至るまで招宴の如きを旗亭に於て催すことなく何れも皆家庭に於て招かれたやうであつた然しながら公のかゝる一身上のことは兎も角其の西歐の巡遊に於て各種精細なる觀察を試みわが兵制の上に貢獻せられたことは尠少でなかつた斯くてわが大山公の歷史は

陸軍の先覺者たるに

止らず更に一面薩長軋轢の間に立ちて其の調停者たるの觀があつた彼の大久保公逝去して後ちの薩長は先づ薩の黑田清隆等と長の伊藤、井上の對立となり延いてはまた文武兩派の軋轢となつた其の間に公は西郷從道侯と共に此の兩派の爲めに調和を圖ることも尠なからず曾ては黑田清隆伯の濫觴を儆めんとして公自ら大杯の滿を引きさすがの

黑田伯をして冑を脫

がしめたこともあつた而してわが陸軍の基礎を築くに當り先輩山縣公と協圖して薩の川上、長の桂兩將と共に協力してわが陸軍の大成を期したこともあつた左れば公は自ら川上、桂、兒玉、奥の俊傑を伴ひ親しく西歐の文物を視察するところあり後桂公をして我軍政の基礎を固めしめ川上操六將軍をして參謀本部の根幹を培らしめたものであつた

蓋し公の眼識は偉大

であると言はねばならぬ後ち日清の役に第二軍司令官たり日露戰爭に滿洲軍總司令官として赫々の武勳あるは普く人の知るところ公の一生は實にわが陸軍の光榮と共に終始して居る公は實に冷靜の人であつた曾て遼陽の役に皇國の興亡を賭せし際にも平然唯一語『戰さは捷つに限ります戰さは捷たねばなりません』と語りたる卓き公が將に將たるところであらう猶ほ公に親炙せし人は公の暖かき温情と

春風駘蕩たる大度量

に敬伏せぬものはなかつた其の應接間には先輩書生の區別なく招じ入れて紅茶と葉卷をすゝめるのが例であつて時々諧謔の裡に意味深長の物語りを試みた人であつた而して他人の過失も自ら責に任ずる大度量を以て事に當り常に其の部下を愛したことも世人の周知するところである曾て日清の役に於てわが兵の旅順虐殺の風聲しきりなる時一日

內地の戰況視察者と

會し言たまく虐殺事件に及ぶや其の原因が支那兵にあり且つ針小棒大の中傷的浮說なるにも拘はらず唯一語『戰爭は何んの爲めにするのでゴワせうか』と呵々大笑したるが如き公の風丰に等しき大度量を見るべきであらう(某氏の談)

百姓に字が書ける乎
トランプ札で土地の分割=名望家の子息を戒む=必要の無い者には會はぬ=大迫將軍の請を退く=稀しい大人格

私は大山公爵に直接にお目にかゝつた事はないが昨年の十一月に上京した際縣の先輩を歴訪していろ〱有益な話を聞いて來ましたが當時大山公の逸事に就いて面白いと思つた事は西郷從道侯が亡くなられる二年程前に

■西郷侯と　共同で那須野に持つて居られた廣い土地をお互に何時死ぬかも知れぬから分けて終はうといふので双方の家族を集めトランプのクローバの女王とハートの女王を二枚持出してハートを引いた者は甲の土地クローバの方は乙の土地と云ふ風で抽籤をして所有權の分割をやつたなどは

■いかにも　磊拐な公侯の性格が窺はれて面白いと思つた亦公が藩閥とか縣閥とかに就いて無關心であつたといふ事は有名であるが或る縣の名望家の子息が陸軍少尉に任官された時今大佐になつてる

■菱刈と　いふ參謀がその少尉を連れて公を訪ひ『國の者ですが今度軍人を志して少尉に任せられましたから宜しく』と挨拶すると『あゝ然うか帝國の軍人は日本人で無くてはならんのだから國の者に逢ひなからうよく國家のために盡せ』と

■同鄕の者　だから宜しくといふ意味で挨拶に出た菱刈參謀に皮肉な此の一語を與へたのはよく公の心情を現はしたもので私が上京した時も川村、權山兩元帥安樂兼道氏等の諸名士が中心となつて懇親會を開いた時私も列席して大山公も來らるゝとの事で心待に待つてゐたが

■遂に出席　されなかつた恁ういふ風で縣人會とか縣人が訪ねて來ても必要の無い者には決して會はれなかつたといふ事である書の揮毫にも決して應じた事が無い之れは昨年上原大將から直接に聞いた事だが日露戰爭後那須野に引込んで農業に隨がつて

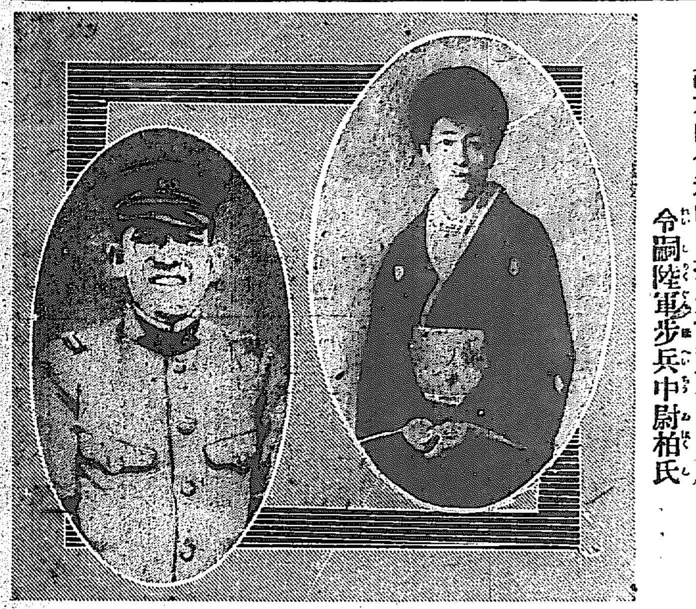
■閑日月を　送つて居られた當時大迫(尙道)大將が公を訪ねて記念のため一筆願ひ度いと揮毫を請ふと『莫迦な事を言つては可かん百姓に怎うして字が書けるものか』と斷られたさうである大迫將軍の如き人に對しても怎ういふ風だつたから他は推して知るべしである

■日露戰爭　の時は兒玉將軍に一切を委せて自身は大局を見て居るに過ぎなかつた事は有名な話だが當時野津軍が敗けて兵を失なつたので陣中から兒玉將軍に電話を掛けて

■援兵を請　ふたところ兒玉將軍が斷つたので野津將軍も意地になり君では分らんから大山を出せと公を電話口に呼び出して援兵の事を談判すると唯一言『お前がそんな事を言つては困る』と言つた限り電話を切つたので野津將軍も已む無く援兵の事を諦めたさうだ、公は前言つた通り

■始めの內　は無骨な取り付の惡い人だが親しく會つて見ると親切で叮嚀で溫厚な君子人である事が知れる、人の言ふ事は何んでもよく聞く方で酒も煙草も健康上惡いといふので數年來斷然廢されたといふ事である、兎に角

■大西郷と　血を引いてゐる丈に當世には稀らしい大人格を有つた人であつた、此の大偉人を出した鹿兒島市の加治屋町には公爵の人格に心醉してゐる豫備陸軍少將の野島丹藏といふ人が住んでゐるといふ事である(池上醫院長の談)



故大山公未亡人捨松子の方と令嗣陸軍歩兵中尉柏氏

板間の書齋に
自畫の達磨の懸軸
故夏目漱石氏の事共=鈴木穆氏の追憶談

總督府土地調査局長鈴木穆氏の令兄鈴木禎次氏(現名古屋高等工業學校教授)の夫人とき子(故貴族院議員書記官長中根重一氏二女)が故夏目漱石氏夫人きよう子の令妹なる縁故の故を以て鈴木局長は往訪の記者に語つて曰く

夏目と姻戚にはなつてゐるがかけ離れて居つて平素滅多に往來しないので

◆詳しい事　は知らぬ確か明治四十二年の秋だつたと思ふ前滿鐵總裁の中村是公氏に勸められて滿洲見物に行つた途りに私の宅に寄つて三四日居つた事があつた、その時短冊や扇面に俳句を書いて呉れたが『寛』を共に吹かるゝ千鳥かな』『名月や丸きは僧の影法師』などと飄逸な中に

◆何處かに　深刻な意味の籠められてゐる句があり字も面白いと思つた、先年伊豆の修善寺にゐて喀血して瀕死に陷つた時友人や門下生が非常に心配をして手を盡した結果一命を取止めた事があつてそれ以來周圍の人が自分を思つてくれるといふ事を感謝してゐたらしいが

◆私の所へ　來た時『あなたは非常に勉強をされるが少し氣を拔いて攝養されては怎うか』と言つた事があつた身體を大切にする事も必要ではあるが吾々の生活は常に智識を養つて置かねばならぬと言ひ、實は今度三週間以上も旅行を續けてゐて何より心配になるのは留守宅の方に來てゐる外國の新聞雜誌や近刊書が讀めぬ事である、久しく書物を讀まず

◆新らしい　學說に觸れず名論に接せずに居ると社會に遲れるやうで不安心で堪らぬと打解けて衷心を語つた事があつたが之れで見ると平素餘程勉強したものと見ゐる、私が東京に行つて訪ねた時は留守だつたがその書齋は板間で見窄らしい小机を置いて自分の居る所丈鳥渡した敷物を敷いてあるといふ有樣で其處に達磨を描いた

◆立派な繪　が懸かつてゐたので誰の筆かと夫人に聞いて見ると『夏目が書いたんです』といふ、繪を書くとは知らなかつたが巧いものですなと感心してゐると『夏目から何誰にもお目にかけては可けない』と吩けられてゐますけれどもあなただから御覧に入れませう』と取出して來た書畫を見ると何も時流を

◆超脫した　雅致のある筆致で然かも手本によつて習つた風も無く、その繪には夏目自身が強く出てゐる獨創的のもの、從來の文人畫に西洋流の洗彩を施したやうな圓熟したうちにも細かい繪の約束に囚はれない奔放自在なものがあり、書も亦

◆智德の高　い禪僧の書いたやうな氣韻のあるものだがそれを悉く自分で立派に表裝して持つてゐるなどは面白いと思つた、夏目氏は餘程頑固な偏狹な人の樣に思はれてゐるらしいが會つてみると常識の發達した人で粗暴に陷り易い文學者には珍らしい程服裝などにも注意を拂ひ日常の擧措動作は紳士的で英國流の崇高な人格を持つた人だつた

天理教疑獄事件

天理教權大教正松村吉太郎加納由松等兩人に係る文書僞造行使詐欺瀆職事件は大阪控訴院刑事第三部林安宅裁判長福釜係檢事立合の上來年二月十五日より公判開廷被告辯護人としては奈良より福田磯田峰本大阪より勝本博士足立四方田長尾東京よりは花井博士磯部永屋高木益の諸氏出廷の由

蘆の中で一夜
脫獄犯人の判決

福岡縣筑紫郡春日村生れの井上關太郎(三二)は前科四犯あり大正五年二月五日竊盜罪にて公州地方法院にて懲役三年の處分となり永登浦分監に服役中本年八月三十日午後四時頃同分監瓦製造工場に於て作業の際混雜に紛れて豫て携へゐる鐵片を以て腰部及び右足部に卷き附けありたる連鎖の錠を脫して其場を逃走して蘆の中に潛り込みて絕食の儘一晝夜を明かし囚衣を脫ぎ棄て全身に泥を塗りて逃走し京城に流れ込みて道路人夫に化け居る所を捕はれ此程京城地方法院にて囚徒逃走罪に依り更に懲役一年の處分となれり

殺人犯人就縛

黃海道長淵郡金應鉉(三八)は大救面一里花陽洞崔昌植の雇人張永逵(三八)が同洞金仁植の妻と情を通じ居れりとの風說を聞き外三名は共謀の上本年七月三十日午後十時過ぎ金仁植の外庭に於て各棍棒を以て張永逵を亂打殺害し逃走したるが內二名は就縛せるも金應鉉外一名は海州地方に逃れ姿を晦まし居る中本年十一月二十九日石潭派遣所憲兵及び補助員は該犯人の海州邑內に潛み居るを聞知し搜査の末同日午後十一時海州郡岡山面烈井洞吳飲食店にて金應鉉を逮捕し嚴重取調の結果去る五日檢事局に送れり(海州)

國語普及夜學會
九日發會式を擧行す

蔡元赫氏外八名の發企にかゝる平壤國語普及夜學會は八日附認可指令ありたれば九日午後七時より會場なる第一公立普通學校に於て發會式を擧行せり當夜は工藤道長官を始め內地官民首腦者百餘名臨席し式後茶菓の饗應ありたり同會の役員は總裁張參與官、顧問本田府尹外二名、會長蔡元赫氏外一名、講師河崎磯五郎氏外廿三名、贊成者山崎三郎氏外十五名の內鮮人等にして授業は十一日夜より開始すべく既に生徒百五十餘名の申込あり斯の如き內鮮人提攜の大規模なる國語研究會は實に平壤に於て嚆矢とする處なり(平壤)

贈答品には　ちゝぬ銘仙　ろ城本町　ちゝぬや

贓品が手掛

京城貫鐵洞居住李忠永(一五)は九月十八日趣洞金東完氏方の便所へ忍び込み二階に昇りて銀製コップ外數點(百十九圓)を竊取し鳳翼洞金在延方に七圓に入質したるが之を知りたる貫純洞李弘珠(五三)は在延に七圓を支拂ひて受け出し之を西大門町一丁目柳棟秀に金十九圓餘に賣却したる事發覺し兩名は此程鍾路警察署に檢擧さる

◎報知新聞差押處分　十二月十日發行の報知新聞は差押處分となりたり

△花月の大廣間で催された醫者團の忘年會は九日の夕方から十二時までの大盛會△總督府醫院、開業醫、軍醫團と總數八十八名の大多數△會は先づ芳賀軍醫總監の挨拶に始まり鹿爪らしいことは拔きにして餘興にて！といふところから先つ羽衣が出されて候ほどに佐々木さんの仕舞と芳賀、中島、工藤、久慈先生の地が大喝采であつた△さて其のお次ぎは古城菅堂先生の坊主踊りから大島醫官の筑前琵琶まつた坂井醫官の手品となり種仕掛はございませんの間に新聞を刷つて號外が出るといふ騷ぎであつた△さてまた愈々當日の呼物『人の一生』には何んでも赤坊から金婚式までの人の世のさま〲を現さうと凝つて△先づ多々見若槻さんの姙婦から工藤トクドルの子守さんの幼稚園生、安藤さんの女學生、池田氏の豆賣り等が飛び出しそれに江頭さんの法界節が出る警官が出る還暦の賀の祝ひとなる騷ぎお了ひがとう〱共白髮の金婚式とは芽出度し〱

京日案內

普通　一回前金三十錢　番外　一回前金六十錢

普通

●金細工職人數名大至急入用　京城本町二丁目　金銀屋　電話長二二四九　888

●社員數名至急入用　▲京城旭町一丁目商業會議所橫ゑり　京城旅館　電話六一又は來談あれ　890

▼名刺と年賀はがき美術印刷　本町二●電二五二七●ウツボヤ書店　879

●讓店　有望地飲食店道具附安價にて急讓渡し度し希望者來談を乞ふ　新龍山漢江通郵便局橫手　梅一　891

▼柳行李と信玄袋は　本町二鞄商會岩田商店へ電五九四　878

●讓店　雜貨店にして賣藥化粧品小間物其他日用的の有利と共に前途多望の老舖也　姓名在社　887

●金融　官吏商人の方信用貸極迅速取扱　來談又は參上　本町二丁目五万壽町一丁目通山田病院上角　柏屋　883

●店員入用　十五歲以上十八歲迄　本人來談あれ　京城本町一　綠田　東洋館　880

●產婆入用　希望者は本町二丁目增田紙店へ來談あれ　874

番外

中古ピアノ　バヨウリン　オルガン　買升　質金も買取升　大和町一の三五　電話取次六七七　杉野樂器店　886

恩給年金即時立替　京城本町二の五三　京城銀行橫へ入　吉田屋　882

銃砲火藥　獵具　京城本町三丁目電話二〇九二番　增戶銃砲店　755

銃砲火藥雜貨　京城南大門通三丁目電話五八三番　藤木商店　856

恩給年金立替　利子年一割　京城櫻井町(大正館向)　即時取引退隱料一切　元祖　博多屋本店　852

恩給年金低利長期即金立替　短期無保險及無手數　▲京城永樂町一　商品陳列館表門前　江州屋本店　848

恩給年金即時立替　月利壹步二厘五毛　三年迄無保險　京城南大門外府御成町　西鮮支店　京義線沙里院　山口屋　廣川商店　843

株　成金愈々續出す　大阪野村德七代理店　京城本町二丁目　電話(長)九九三番　田中吉友商店　836

△獵期と魔法瓶　魔法瓶中瓶取替　京城本町一丁目　高木旅行用具店　884

內職　隱居婦人の手內職として場所いらずコタツの上にてもできやすき手仕事あり希望者は來店あれ　旭町二丁目　京城印刷所　866

●京城春川間　●京城春川間每日午前八時卅分出發　自動車賃金片道四圓　南大門通一丁目　電話二一九番　廣橋自働車組　主務　金正淵　859

●銃砲火藥自轉車　●京城●大田●公州　瀧川銃砲店　854

恩給年金即時現金立替　短期無保險並に國債貯蓄債券買入　京城永樂町二丁目(金光教北手)　國江商會　830

登記公告方

大正六年中商業其他法令ノ規定ニ依ル登記事項ノ公告ハ當院ハ仁川府ニ於テ發行スル朝鮮新聞ニ管內各支廳ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報ニ掲載ス

大正五年十二月八日　海州地方法院

新刊書御案內

書名	著者	定價
大日本國語辭典第二卷	上田萬年 松井簡治	特價五、三〇
悟道の妙味	釋宗活	九〇
徹底禪	秋野孝道	九〇
現代國民修養大鑑	青年教育會	一、八〇
現代英國の產業革命	楠原世昌	一、二〇
繪畫と國家の盛衰	松岡俊吾	一、二〇
日本先住民族史	藤原相之助	二、二〇
先驅者	谷崎精二	一、四〇
訂正增補 日鮮文現行書式大全	淡淳	一、五〇
書道文庫第一編 書法問答	小野鵞之助	七五
同訓異義 漢字用法	淺部虎次郎	六五
大日本雄辨史	三生坊逸人	七〇
金剛力	高橋竹迷	九〇
訂正天才論	辻潤譯	一、〇〇
巨人星	伊藤亨	一、五〇
詩集 伴奏 第一輯	露風、晶子、勇外五大文學士	三五
千曲川のスケッチ	島崎藤村	六〇
流轉のはじめ	小林愛子	三八
標準かるた 美麗箱入各種		

大阪屋號　京城本町二丁目(電話二〇八六)

青酸加里　水銀　新荷著　保稅品有　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五・一七四　電話京城二五九六

無代進呈　ハガキで御照會あれ　即日封送す　三色版圖入　實驗　肺病の解決　■肺病の初めは自分に如何して判るか　■療法は如何に選べば一番完になるか　■平常如何にせば早く快方に赴くか　此書の內容に懇切平易に說明しあり一讀して全快の方針を得られよ　東京市本所區向島小梅町　東京藥化學研究所出版部　申込所

質　京城黃金町二丁目　永樂町(停留所北入)　堀佐營業所　(電話六三九)

此廣告は天下の銘酒　白鶴　特約店　桑田支店　(平壤)

怒濤の月

一八 小林蹴月作 武内桂舟畫

御進物『四』の三

取籠されたお久が此の時の顔色と云つたら、それこそ苦虫に鹽辛を付けて、噛み潰したやうであつた。彼女は、真個に擢一郎の看破した通り、幸三郎の方から苦情を持ち込んで来たのを口實にして、二百と三百の纏つた金をゆすぶり出さうと云ふ目算なのであつたが、それがからりと彼方から外れて了つたのである。

『こんな事なら、矢張松崎さんに相談してからの事に爲れば好かつたが、直接の方が反つて、分りが早い杯と思つて、遣つて来たのが、妾の智慧が足りなかつたんだね』

煙草盆を相手に、獨りで愚痴つて見た所で、既う追付ない、歸らうか知ら……それとも、松崎さんの歸りを待つて、絹代の消息を聞いてから爲やうか知ら……と、左つ右つの思案半ばへ、果して主人の語に違はず、桑原家の手代兼執事役たる松崎兼吉が、伸を飛ばして歸つて来たのである。

松崎は、先づ主人の居間に入つて稍少時密談を凝らして居る容子であつたが、軈て例の如き如才なき調子で、にこ／＼と爲ながら、お久の居た八疊の座敷へ出て來た。

『はゝア、白宮の小母さんですか、彼の後是非一遍上るべきでしたが……つい。それは然うと本日も一寸、主人の用をかねて、お屋敷へ伺つたのですね。』

んですね、お孃さんも至極無事で機嫌好く何して居られますから、御安心なさるが宜いですよ。はゝゝ。』

『お蔭さまで、それを承はりまして妾も大變嬉しう御座います。』

『でね、只今も鳥渡主人からの話に聞きますれば、絹代さんには元來許嫁の男があつて、その男が何とやら云ふ壯士やうの者を賴んで苦情を持込んで來たとやら云ふこつてすが、第一先、そんな事を直接に貴女から主人へ相談するなど、云ふのは、大間違ひの骨頂ぢやありませんか、貴女にも似合ない、何故私までその事を前以てお話にならんかつたのです』

『誠にね、松崎さん、決して慾徳づくで參つたんではないんですけれども、宿は御覽の通り、お人善一方で御座いますし、思案に餘りましたもんですからつい、ね、ほゝほ、貴方までが然う御立腹では困りますけれどもね。』

『いや、立腹は爲ませんが、多少の金で濟む事なら、私の計ひで何とかその先方の男と云ふのに話を付けて進せやうぢやありませんか。』

『然う願はれゝば、何より結構で御座いますが、その先方の男と云ふのが、誠にもう野暮と申しませうか、一徹と申しませうか、譯の分らない人間で御座いますので、御他人がお入り下さるよりは、反つて妾自身の方が宥め好からうやうにも思ひますのでね。』

お久は、何處までも現ナマを自分の手にせしめて、その上何とか幸三郎の方を押丸めたいのが心願なのである。

『はあ、然うですか、一體何程位あれば事が濟むんです、私も此の事に就いては、主人に對して、大責任があるんですから、今中途半端の所で詰らぬ苦情が持上つた日には、此の首道具ですからね、什うです、四十か五十の金では……？』

松崎の詮に回つて心配するには、又其處に口に言ひがたい理由の存るのである、お久も然る者、疾よりその邊を承知しきつて居るのであるから、假令五十の金でもせしめ得であると、心窃かに合點の唾を嚥み下した。

『貴方がそのやうに御親切に被仰つて下さいますなら、切に百圓もと存じましたんで御座いますけれども、其處を何とか五十圓位で納得させるやうに致して見ませう。』

『是非然うして下さい。今が大切な所なんですからね。』と、松崎は、手早に紙入の中から十圓紙幣五枚を引張り出して、お久の掌へ握らせながら『それでね小母さん、貴女の前では少し言ひにくい事なんですが、彼の絹代さんと云ふ娘は、餘程の偏屈者か、それとも、今お話のあつた許嫁の男と云ふのに飽まで貞操を守らうと云ふ決心で居るのか、その邊は丸より分りかねるんですけれども、實に不思議な事があると云つて、それとはなしに原町の御前が、私にまで耳打を遊ばした事があるんです。』

『へい！、松崎さん、不思議なと被仰るのは、そりや一體何なんで御座いませう？』

斯う言つたお久の眼は、遥かに闇く光つた。

京城本町一丁目 京都 たまや出張店 電話一一九六 呉服

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府永樂町一『商品陳列館通坂の上』 電話二一〇二番

●公民會の眞相

[illegible]奉天省に勃起せる公民會なる者は[illegible]員たる參議員議員兩名を奉天に派し[illegible]び地盤を奉天省に樹立せんとする者にて該黨は今や其本音を現はし該黨[illegible]ねて國民黨と相容れざる北洋派の張督軍は國民黨の勢力を奉天省に得るを斷じて許さゞる[illegible]にて[illegible]の政治[illegible]ざる事實なる可し 我國に對して排日檄文に論述せるが如き思想を懷ける事は否認す可から[illegible]

[illegible]該方面の貨物は主として陸路は張家口、古北口、喜峰口、冷口、朝陽等を經水路は灤河を下り[illegible]に搬出し[illegible]動振りを窺知するに足る可し

羊毛 六六〇、一一六斤
羊毛絨 四、四六五
豚毛 四七、四八四
[illegible] 一〇、五六六
麅皮 二六四
兎皮 [illegible]
杏仁 七、五〇九
駱駝[illegible] 九八斤
狗皮 [illegible]

[illegible]より同十一日迄に喜峰口と平泉間に於て運搬中の車輌に遭遇せしもの約二〇、〇〇〇斤ありたりて[illegible]河灤洲に運輸せられたる數量は十五萬箱を下らず巻煙草も亦殆んど英米トラストの獨占に屬せり

◎俳諧散心

第二十回＝大正五年十二月三日＝雜吟。作者十人、選者八人。青丘(十九點)市民(十七點)東村(十三點)北星、耕伯、各十點)以下略

四點
人の來て華やかに上る炭火哉 東村

三點
凩や犬の臨終に乘る手燭 山民
墓地伸びて行く畑中や凄の月 同
航路開けし島明るさや密柑畑 青丘
山火事や巨樹の火映の裏走る 同
巧み書く女の文字や水仙花 北星

二點
布團敷いて脈覺かし又讀むる 山民
亡き父に手紙又來し寒夜哉 同
新道に家向きかわる師走哉 同
山茶花や朝拜待つに開けぬ門 東村
寺の中に鎌倉はある冬日哉 同
汽船ほりほりと夜の間氷り晃 北星
守錢奴の家一朝に燒かれけり 同

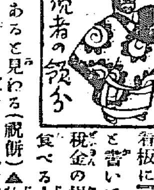
鞭打てば退る荷馬や冬の草 青丘
故郷に硯氷ると書きにけり 耕伯

□悼浮碧樓丁興 雄子郎
○
小春つゞくも時雨るゝも同じ淋しさ
○ 拔柳
石肌洗はるゝ木枯やみまなう霜濃き下り立ちしうしろを閉づ

新刊紹介

▲勝友(十二月號) 道は邇にあり『三隅田持門』汝の心にあり『久松彌瑞』成道の劇『新人』及び靈界時報等(五錢京城本町三の五〇淨土宗青年會本部)
▲國民飛行(十二月號) 空防論『怪鳥』飛行の勢力の研究『日野少佐』英國飛行隊の秘密『友氏』及び少年界、婦人界、問答其他(十八錢東京市麹町區四の一〇其會)
▲實業界(十二月號) 歳暮大賣出しに利く廣告、小賣店失敗の原因、保險勧誘の要、工芸資金融通法、カレンダーの作方其他(二十五錢東京市神田區駿河臺鈴木町同文館)
▲朝鮮農會報(十一月號)『朝鮮文』年麥栽培法、平安北道の養蠶、畜産の原則に依る採種法、本〔原〕の土壤に關する調査其他(二十錢京畿道水原日稱高等農林朝鮮農會)
▲京城藥報(十二月號) 八錢京城旭町二の六〇其社
▲倚美堂時報(七二) 定價不詳大阪市淀屋橋倚美堂
▲くろ／＼坊主(創刊號) 五錢尾張市久保町五七四天下泰平社
▲女かゞみゆひ畫報(十二月號) 六錢東京市神田區北神保町一其社
▲英語の日本(十二月號) 十二錢東京市神田區表神保町三雄文館
▲實業帝國(十二月號) 十一錢東京市日本橋區本町二の四其社
▲新國民(十二月號) 十五錢東京市神田區駿河臺袋町一大日本國民中學會
▲石油時報(十二月號) 十錢東京市麹町區有樂町一の一其社
▲紙之世界(十二月號) 五錢東京市小石川區西江戸川町二〇一其社
▲流行(十二月號) 定價不詳東京市日本橋區白木屋
▲國普通信社月報(十二月號) 非賣品東京市芝區櫻川町七其社
▲新東京(十二月號) 五錢東京市神田區美土代町二の一倚井綜業堂
▲住宅(十二月號) 五錢東京市芝區琴平町住宅改良會
▲大日本新國(三二〇) 五錢東京市麹町區有樂町一の四其社
▲人格と幸福(十二月號) 六錢京都市西陣萬年寺小路東山通西入明治修養會

讀者の領分



▲南米倉町の或宿板に『御税餅』と書いてあるが税金の掛る餅か食べる人種が支那にあると見わる(税餅)▲物價が騰貴した爲めか満州の旅館は馬鹿に不敬く取る(旅鳥)▲〇〇町通の某郵便局の方は言葉が穩當を缺ぐ無學の者が間違つても頭からガミ／＼云はなくと親切に敎へてやつたらどうでせう(無學賢見生)▲九日の午前四時頃本町郵便局の横手に於て朝鮮の花婿さんが輿が破れて人夫ども大弱りはとんだ御愛嬌で氣の毒でありました(哀話生)▲郵便局裏華商總會の支那語夜學會は昨今五人の生徒が居るばかりだけれども新入生は何時からでも都合よく今なら初歩の者もあるが入門されては如何(ニーヤ生)▲聞きたい生に答ふ當地には左樣のもの之無候何讀者の領分にて種々の照會の問答は致し兼ね候間總て返事料添付若くは往復端書にて爲され度候(係)▲新年讀者文藝應募の方は必ず『新年』の二字を御明記あり度然らざれば毎日の讀者文藝と混同の虞あり御注意まで(係)

●大正六年来る新年を作法正しく迎へて多幸なれ

▲お正月を迎ふる儀式作法と其料理法を心得ぬは主婦の恥なり

我國には昔よりお正月を迎ふるに當り美風たる一定の法式あるも現今漸く此心得ある人の減少して無作法の中に新年を迎へて心ある人の顰蹙を招くに至る人多きは寔に遺憾の極みなり幸不愉快に送る人も少なからず一年の計は年の始めにありと言へば作法正しく古雅にして優美なる日本特有の式に由つて幸多き良き年を迎へ向上發展せられたきものなり記者は茲に

板垣伯爵夫人發行の料理禮法講義録の内容を紹介して讀者の參考に資せんとす

▲正月儀式料理 正月の飾附け即ち長熨斗松こくし等を三盃に飾附るには如何にするか又正月の式膳は如何なるものにて其調理法は如何にするかを圖入りにて説明し候

▲門松を建る事 ▲注連飾の事 ▲歳德神の事 ▲若水の事 ▲御櫛始めの事 ▲大福茶の事 ▲年男の事 ▲寶船の事 ▲日月祝の事 ▲風呂始の事 ▲連歌の事 ▲六日歳越と若菜進上の事等

▲正月重詰料理 お正月は如何なる家庭にても第一に供へ置かざるべからざる重詰は是非必要缺くべからざる重詰の拵へ方數種を掲載せり

▲正月三日料理 三ケ日は極めて重要の日なり去れば此の三日には如何なる料理が必要なるかを説けり

▲正月酒饌献立 御祝儀の膳を済み先づお屠蘇と云ふ場合に乙な正月の酒饌献立を饗するは酒を嗜む者に何よりの嬉しいことで是等の氣轉は料理の心得ある主婦の技倆の見せ所なり

▲餅と調和する料理 俗に言ふ餅腹の後に適する料理は何がよきか之れはあつさりとした料理にて正月には上戸

▲雜煮拵へ方 各地方各々其趣を異にせるも[illegible]

▲巳年に因める新案料理 同會講師 石山清家元撰 [illegible]

▲年中行事 ▲禮儀作法 ▲西洋料理 ▲支那料理 ▲和洋菓子 ▲家政學 ▲漬物の漬方 等家庭に必要の事項につき同會附屬帝國女子割烹學校と帝國禮節研究會とに於て當代一流の大家を聘して實地に研究教授せるもの全部を假名つきで誰れにも解る樣懇切丁寧に説明せる實用通信講義録なれば師に手を取つて敎へらるゝより一層了解し易く結構此上なき良書なれば満員とならぬ内に明日と言はず今日只今直に入會せらるべし

▲正月料理より新學期開始

一回六ケ月一回九十五錢一ケ年三圓六十錢にて半年卒業一年卒業なり而も毎月送附

▲入會手續きは 極めて簡單に纏めれば立派なる講義録は後々美麗なる藏書となるべし

▲五大特典 入會金免除、料理必携進呈、六月前納者に家庭與實進呈、一年前納者に婦女亟匹及び紀念メタル進呈等あり

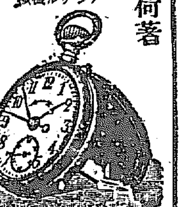
▲入會者の利益 [illegible]

▲此上もなし 内容見本と規則書を一見したき人には申込次第無代進呈

東京本郷元町一の三 東京割烹講習會へ申込まるべし
振替口座東京一九四一〇
電話下谷五六九二

(今日只今此正月號より入會せよ)

新荷著 スイス製 アンクル機械 懷中時計



(ニツケル側)十八形 … (銀側) … (金側) … 十年保險 …

[illegible]

堅牢確實正確無比 價格低廉 美麗體裁

右は今回新著の商品にて本商會獨占の商品に御座候間御地方遠隔の御方も小包郵便にて御送附申上候

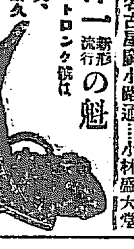
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商

本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレツレー商會

りん病 ばい毒 請合藥 京城南大門外停車場通り 大阪ドラッグ商會朝鮮本部 詐欺ノ廣告ニ御注意 一二批評ヲ本紙ヲ御覧

ね小便 治療 好期 本院長晋尾軍醫官苦心發表の新療法は効力偉大全治の餘り禮状寫眞等各縣より續々來着せり今迄何等の治療も不治再發の人も悲觀せず論より證據直に試みられよ詳細はハガキにて東京向島新小梅二一院長宛 東京新療院藥品部へ申込め 最新遺尿自療法解説書無代進呈

御旅行用 靴と鞄 定價表郵券二錢 東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄製造問屋 電話一五五一 振替一八七一



内田式ストロング靴は 東洋一の新形流行の魁 堅牢優美 價均一圓久保證す

わきが治癒良劑 わきがは良縁出世交際を妨げ人に不快を感ぜしむ即刻治療されよ 清腋散は幾多經驗の良劑故慢性のわきがも治癒せしむ諸處難の人直ぐ試み給へ藥價輕症用一圓卅錢 重症用一圓八拾錢 送料各四錢郵券不苦 本家 名古屋廣小路通 小林盛大堂

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油醸造場

金泉醴泉間自動車時間

金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

共同汽船仁川出帆 第共同丸 十二月十日入港 十二日正午出帆 大連行 ○芝罘、大連行 同航路は從來共同汽船株式會社にて取扱ひ居候 仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十二月 日後五時出帆
○小倉丸
○元山、清津、浦鹽行 日後十時出帆
○小立神丸 日後四時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 日後六時出帆
○第三琴平丸
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸
○佐須奈、厳原、壹岐、博多行 毎月二日九日十六日廿三日 日後六時出帆
○天草丸 毎月日十四日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行 天草丸 十二月十二日 後二時
○安東 十二月十七日 後五時
○群山、木浦、釜山、羅原、與那原行 十二月十二日 後二時
○信濃川丸 十二月十三日
○潮州丸 十二月十八日
○大智丸 十二月 大阪行
○信濃川丸
○鎮南浦 神戸 大阪行
○須磨丸 十二月十四日正午出帆
○清津、浦鹽行(元山出帆) 十二月廿五日後
○印度 釜山 十二月廿一日
○安平丸 十二月十一日 後
○宮島丸
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 十二月十四日午前六時
○基隆丸 十二月一日午後四時
御注意 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 十二月廿二日後四時出帆
○秀吉丸 十二月廿二日後四時出帆
○君が代丸 十二月二十日後四時出帆
○神代丸 仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行 三河丸 六年一月一日正午出帆
○大連、秦皇島行 相模丸 十二月十二日正午出帆
○砂捩丸 十二月廿一日正午出帆
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三番 鐵道會社及社外船とも連絡京城荷客取扱店 松原運送店(電話長一七〇番)
○全羅丸 十二月十六日 釜山發
○京畿丸 十二月廿一日
○黃海丸 十二月廿一日
○咸鏡丸 十二月二十日
○穩城丸 十二月十三日 元山發
○昌平丸 十二月十一日
○鏡城丸 十二月十二日
○第二錦旗丸 十二月十一日 元山發
○忠清丸 十二月二十日
○平壤丸 十二月二十日
○盛德丸 十二月九日 釜山發
○江陵丸 毎日 浦項發
○三浦丸 十二月十一日 釜山發
○海州丸 統營丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 十二月九日 木浦發
○慶興丸 十二月十二日 木浦發
○公州丸 十二月 日 木浦發
○宗信丸 十二月八日 仁川發
○江原丸 十二月 日 仁川發
○麗水丸 晉州丸 十二月十一日 十二月八日 仁川發
○全州丸 濟陽丸 毎日午前 仁川發